NUTEC

テクノロジー&エンジニアリング

常に車上をみすえた開発

独創的新世代ルブリカンツ“NUTEC”

ニューテックはレースシーンやストリートで「より実践的に、より実用的に」を開発コンセプトとしています。
あらゆるエンジンの持っているポテンシャルの全てを引き出すこと
つまり燃焼・運動のための良い環境を作り、取り出したエネルギーをできるだけ熱に変えずに出力することによって
ドライバビリティの向上や、エンジン・駆動系の長寿命化をはかることが目標です。

NUTEC Japan Co., Ltd.
〒231-0801 神奈川県横浜市中区新山下1-17-15
TEL.045-628-2055(代)　FAX.045-623-9599

●NUTECの最新情報はホームページをご覧ください。 **https://nutec.jp**

KYOJO

KYOJO CUP
RD.5

Final Round

Inter Proto Series
RD.5-6

2026.10.31(SAT)-11.1(SUN)

AIM Legend's Club Cup 2026｜KYOJO VITA Rd.3｜FCR-VITA Rd.3｜
FCR-86BRZ I・II・III / 富士86BRZチャレンジカップ Rd.2

FUJI SPEEDWAY

KYOJO CUP & Inter Proto Series
Fuji Champion Race Series

2〜3	目次・公示・タイムテーブル	
4〜5	場内マップ	
6〜7	イベント・アトラクション・インフォメーション	
8〜9	Inter Proto Series	プレビュー
11	Inter Proto Series	エントリーリスト
12〜23	Inter Proto Series	チーム&ドライバー紹介
24〜25	KYOJO CUP	プレビュー
26	KYOJO CUP	エントリーリスト
27〜31	KYOJO CUP	チーム&ドライバー紹介
34	KYOJO VITA 第2戦	プレビュー
35	KYOJO VITA 第3戦	エントリーリスト
36〜39	KYOJO VITA 第3戦	ドライバー紹介
42〜43	FCR-86BRZ Ⅰ･Ⅱ･Ⅲ / 富士86BRZチャレンジカップ 第2戦	レビュー・エントリーリスト
46〜47	FCR-VITA 第3戦	レビュー・エントリーリスト
48〜53	AIM Legend's Club Cup	エントリーリストなど
54	大会組織	

Official Announcement 大会公示

本大会は、一般社団法人日本自動車連盟(JAF)の公認のもと、国際自動車連盟(FIA)の国際モータースポーツ競技規則とその付則に準拠した一般社団法人日本自動車連盟(JAF)の国内競技規則とその付則、並びに、それらに準拠した富士スピードウェイ一般競技規則書及び本特別規則書に従い準国内競技として開催される。
尚、競技会が全日本選手権、地方選手権競技として開催される場合、有効なJAF「日本レース選手権規定」が優先され、それ以外についても各協会発行の規則書、ハンドブックに規定された条文については、それらが優先される。

Organizer オーガナイザー

富士スピードウェイ株式会社
FISCO クラブ(FISCO-C)

Attention 入場の皆様へのご注意

自動車競技には危険が伴います。本競技会の組織、運営に関する者は、土地所有者、運転者、競技車両の所有者を含め、すべての事故のため観客が損傷、死傷を受けた場合でも、これに対する補償責任は一切ありません。この点を了承の上でご入場くださるようお願いいたします。

本大会に於いて撮影されました映像、写真及び音声に関しましては、公的報道を目的とする使用、または個人で楽しむ目的での使用以外は、主催者の許可なく無断で掲載および商業利用することを禁じます。

AD CONTENTS

KeePer技研株式会社 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
表参道メディカルクリニック ・・・・・・・・・・・・・ 13
日本自動車用品・部品アウターマーケット振興会(NAPAC) ・・・ 16
ブリッド株式会社 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
横浜ゴム株式会社 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
株式会社ブリヂストン ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
有限会社アイ･ディ･アイ ・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
株式会社プロモーション ・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
住友ゴム工業株式会社 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
有限会社 NUTEC Japan ・・・・・・・・・・・・・・・・ 56

KYOJO CUP Round 5 & Inter Proto Series Round 3
Fuji Champion Race Series Round 5
2026.10.31 SAT - 11.1 SUN
TIME TABLE

2026.10.31 Sat

8:00〜 8:20	FCR-VITA 第3戦	予選
8:30〜 8:50	FCR-86BRZ Ⅰ･Ⅱ･Ⅲ / 富士86BRZチャレンジカップ 第2戦	予選
9:00〜 9:20	インタープロトシリーズ 第5戦 & 第6戦 Gentleman	予選
9:30〜 9:50	KYOJO CUP 第5戦	予選
10:00〜10:15	インタープロトシリーズ 第5戦 Professional	予選
10:40〜 10周 or 25分	FCR-VITA 第3戦	決勝
11:50〜 10周 or 25分	FCR-86BRZ Ⅰ･Ⅱ･Ⅲ / 富士86BRZチャレンジカップ 第2戦	決勝
12:45〜	KYOJO CUP 第5戦 Sprint スタート進行(グリッドウォーク12:55〜13:05)	
13:10〜 10周	KYOJO CUP 第5戦 Sprint	決勝
14:20〜 12周 or 25分	インタープロトシリーズ 第5戦 Gentleman	決勝
15:15〜15:35	AIM Legend's Clib Cup	予選

2026.11.1 Sun

8:10〜 8:30	KYOJO VITA 第3戦	予選
8:55〜 12周 or 25分	インタープロトシリーズ 第6戦 Gentleman	決勝
10:05〜 10周 or 25分	KYOJO VITA 第3戦	決勝
10:50〜11:20	ピットウォオーク	
11:30〜11:55	インタープロトシリーズ 同乗走行	
12:15〜	KYOJO CUP 第5戦 Final スタート進行(グリッドウォーク12:25〜12:40)	
12:45〜 15周	KYOJO CUP 第5戦 Final	決勝
13:50〜	インタープロトシリーズ Professional スタート進行(グリッドウォーク14:00〜14:15)	
14:20〜 9周 or 17分	インタープロトシリーズ 第5戦 Professional	決勝
14:50〜 9周	インタープロトシリーズ 第6戦 Professional	決勝
15:55〜 8周	AIM Legend's Clib Cup	決勝

CIRCUIT GUIDE

Map Information

- インフォメーション Information
- お手洗い Lavatory
- レストラン Restaurant
- 授乳室 Nursing Room
- 車椅子専用駐車場 Parking for Disabled
- 喫煙所 Smoking Area
- 加熱式タバコ専用喫煙所 Heated Tobacco Smoking Area
- コインロッカー Coin Locker
- EV充電器 EV Charger
- ガソリンスタンド Gas Station
- 通行不可 No Entry
- 駅シャトルバス乗降場所 Shuttle Bus Stop -bound for Gotemba Station
- 2輪駐車場 Non-reserved Parking for Bikes
- 一般駐車場 Car Parking
- イベント会場 Event Area

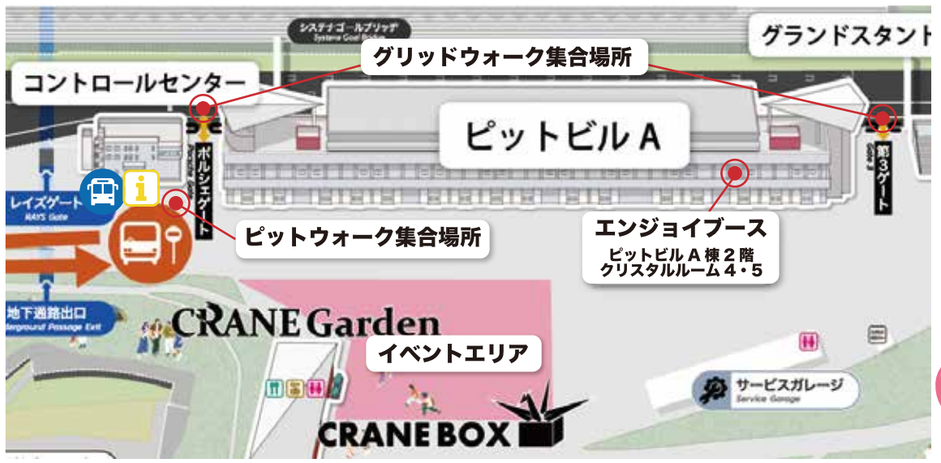


富士スピードウェイホテル
FUJI MOTORSPORTS MUSEUM
富士モータースポーツミュージアム
ショッピングテラス
ヘリポート
ジムカーナパーク
ドリフトパーク
オフロードパーク
P9
P10A
P10B
P10C
P11
P12
P13
グランドスタンド
第１コーナーグランドスタンド
コントロールセンター
ピットビル A
ピットビル B
A パドック
B パドック
C パドック
P17
P18
P19
SMBC パーキング
P20
CRANE Garden
CRANE BOX
西ゲート
ウェルカムセンター
フォレストテラス（商業棟）
ルーキーレーシングガレージ
FOREST SQUARE
P14
P15A
P15B
ホテル・温泉施設（2027年春 開業予定）
シェイドレーシング FUJI ファクトリー
P6
RECAMP
FUJI SPEEDWAY
RECAMP FUJI SPEEDWAY
P7
mobilitas
モビリタ
ショートコース
30度バンクメモリアルパーク
CG パーク
P2
P5
カート＆モトパーク
P4
P3
P1
P8
東ゲート

場内周回バスルート

10/31（土）8:00~16:00
11/1（日）8:00~16:30

A PADDOCK MAP



富士スピードウェイ直行バス

JR御殿場駅0番線（富士山口）
↕
FSWコントロールセンター前バス停
片道乗車券 720円

往路：御殿場駅 → FSW		復路：FSW → 御殿場駅	
10/31(土)・11/1(日) 共通		10/31(土)	
御殿場駅 発	FSW 着	FSW 発	御殿場駅 着
07:30	08:00	14:00	14:30
08:00	08:30	16:00	16:30
		11/1(日)	
		FSW 発	御殿場駅 着
		14:00	14:30
		16:30	17:00

レースイベント



グリッドウォーク

場所｜グリッド［集合場所：第3ゲート＆ボルシェゲート前］（3ゲートがオススメです）

料金｜大人(16歳以上) 各日1,500円／小人(15歳以下)無料
販売場所：コントロールセンター前デッキテラス※1

※1前売り券の引き換えもこちらです。

スタート直前のグリッドに入り、マシンや選手を間近で見学できます！



10/31(土)	12:55~13:05	KYOJO CUP Rd.5 Sprint
11/1(日)	12:25~12:40	KYOJO CUP Rd.5 Final
	14:00~14:15	インタープロトシリーズ 第5戦 Professional

ピットウォーク 11/1(日) 10:50~11:20 無料



場所｜ピットロード［集合場所：コントロールセンター前］

ドライバーと写真を撮ったりサインを貰ったりといった現地観戦ならではの楽しみ方ができます！
※優先ピットウォーク入場場所：9 番ピット
※KYOJO年間パス所有者限定

IPS同乗走行 11/1(日) 11:30~11:55 無料



場所｜レーシングコース

参加方法：ステージイベントの「じゃんけん抽選会」で勝ち残った方に乗車権をプレゼント！
IPS に参戦するプロドライバーの運転を隣で体験！

オープンピット (土)(日) 8:00~16:30 場所 9番ピット 無料



レースに向かうドライバーの姿やレーシングカーの整備風景を、普段は入ることができないピットから間近に見てみませんか？

Aパドックイベントエリア 10/31(土) 11/1(日) 9:00~15:30

お子様が夢中になれる体験型ブースや各種展示、チーム公式グッズの販売など、見どころ盛りだくさん！

体験 日本プロゴルフ協会スナッグゴルフ体験

ゴルフ入門編のスナッグゴルフを体験！プロがしっかり教えてくれます！

体験 インタープロトキッズ



インタープロトシリーズで使用されるレーシングカー「Kuruma」のミニチュア版ペダルカーでタイムトライアルに挑戦しよう！ ※身長100cm~135cmのお子様対象

体験 スーパーカー＆旧車同乗試乗会



体験 御殿場市役所モータースポーツ部【へんしんバイク】

3~6歳のお子さまと保護者の方を対象にした無料の親子自転車教室【へんしんバイク】。楽しく遊びながら、自転車デビューに向けたバランス感覚を身につけることができます！



イベント ドライバートークショー

11/1(日)

9:00 ~ 9:15	オープニングトーク
9:15 ~ 9:25	じゃんけん抽選会
9:25 ~10:05	KYOJOトークショー
10:05~10:45	スープラ＆IPS トークショー
11:00 ~	レジェンドカップトークショー

※雨天時は、クリスタルルーム５で開催します。

DJ CAR and DRIVER / FM STATION

展示＆販売 PEAKS X のりめんショップ

体験＆物販 IPS&KYOJO CUP公式ブース

物販 nat team KCMG オフィシャルグッズ

物販 富士山静岡レーシング

展示 NEXCO中日本

展示 ミハラ自動車株式会社

展示 小倉クラッチ株式会社







エンジョイブース 10/31(土) 11/1(日) 9:00~15:30

場所｜ビットビルA棟2階 クリスタルルーム4･5

熱気あふれるレース観戦の合間に、ひと息ついてリフレッシュしませんか？「エンジョイブース」には、指先から気分を上げるジェルネイルや、歩き疲れた足に嬉しいフットマッサージ、気になる運勢を占うタロット占いなど、ワクワクする10個の体験コンテンツが集結。モータースポーツの臨場感とともに、美と癒やしを楽しむ特別な1日をお届けします。お一人様も、ご友人同士も大歓迎です！

- colorato（ジェルネイル）
- ty-ROOM ぬいぐるみと遊ぼう　● タロット占い清良
- 24colour's（ボディジュエリー＆ジャグアタトゥー）
- 英国式リフレクソロジーPono（フット＆ヘッドマッサージ）
- ココロカスマイルプラザ（高電位治療器の体験）
- LHG（「水素吸入療法」無料体験）
- Aroma&ColourCare JEWELS（オーラソーマ）







グルメ



※10/31については、一部店舗のみの営業となります。

Aパドック 9:00~15:30

多幸家 (土)(日) 営業
たこ焼き 800円



カフィーエルベ (土)(日) 営業
カリーヴルスト 1,200円



オムキッチン (土) 営業
十勝豚丼 1,300円



ショッピングテラス 10:00~14:00

松喜 (土)(日) 営業
Bランチ 1,000円



十八番や (土)(日) 営業
国産牛使用のステーキ丼 1,400円



ハニーハウス (土) 営業
ホルモン焼きそば（並） 1,100円



HASEGAWA (土)(日) 営業
ナンバーガー 850円



麺屋白虎 (土)(日) 営業
チャーシュー丼 1,100円



MAMA'S HARMONY (土)(日) 営業
ロコモコ丼 950円



MAMA'S KITCHEN (土)(日) 営業
カツカレー 1,200円





CRANE Garden ［レストラン］ 9:30~17:00（LO16:30）

チキン南蛮定食 1,450円



シェフオリジナル ミートソース パスタ 1,200円



かつ丼 1,250円



ウィンナーコーヒー 600円



富士モータースポーツミュージアム Fan Terrace

富士モータースポーツミュージアム3F
10/31(土) 10:00~18:00
11/1(日) 10:00~17:00

抹茶ぜんざい 900円



※お席は全てチャージ料がかかります。
おひとり様ワンオーダーをお願いします。



富士モータースポーツフォレストテラス

山の名水そば 富士の香
［ランチ］11:00~15:00（LO14:30）
［ディナー］16:00~20:00（LO19:00）



勝つけせいろそば 2,500円

TRASPARENTE Celeste
8:00~19:00
御殿場産の切りたて生ハムとルッコラのピザ 2,300円



TROFEO イタリアン 富士スピードウェイホテル 3F ［ランチ］ 11:30~14:00（LO14:00）

プリフィックス ランチセット 4,180円
※サービス料別途



豊洲 まぐろ問屋 虎市
［ランチ］ 11:00~15:00（LO14:30）
［ディナー］ 17:00~20:30（LO20:00）



まぐろのレアカツ 1,600円

茶楼KISURIN
［ランチ］ 11:00~15:00（LO14:30）
［ディナー］ 17:00~20:30（LO20:00）

茶楼 麻婆豆腐 1,950円

オフィシャルグッズ クレインボックス 10:00~16:30

プレートマグネット 550円

チェカ ワイヤーフレーム キーホルダー 1,200円

タイヤバウム 1,500円

その他イベント

レンタルカート 10/31(土) 10:00~12:00／13:00~17:00 11/1(日) 13:00~17:00

場所｜カート＆モトパーク

料金｜1人乗り：3,800円（身長145cm以上）

富士スピードウェイを模した本格コースをレーサー気分で疾走！子供から大人まで迫力の走りを体感。タンデムカートで小さなお子様もコースデビュー！親子や仲間とタイムを競う、興奮のひとときを楽しみませんか？

富士モータースポーツミュージアム

10/31(土) 9:00~19:00 11/1(日) 9:00~17:00

場所｜富士モータースポーツミュージアム

料金｜大人(18歳以上)2,000円／高校生1,000円／小中生800円

今年のル・マン 24 時間レースで総合優勝を果たしたトヨタの「TR010 HYBRID 7 号車」を 2027 年 1 月初旬までの期間限定で展示中。激戦のル・マンを戦った実車をこの機会にご覧ください。

富士モーター スポーツフォレスト ウェルカムセンター 無料

(土)(日) 9:00~17:00

場所｜ウェルカムセンター

さまざまな車両の展示やイベントを通じて、モータースポーツの“いま”と”未来”に触れていただけます。広大なサーキットと富士山を望めるウェルカムセンターから富士モータースポーツフォレストが目指すビジョンを感じてください。

Petreat（ペトリート）

(土)(日) 10:00~18:00（スパ最終16:00イン）

場所｜富士モータースポーツフォレストテラス

料金｜セルフウォッシュ 4,400円

思いっきり遊んだ後は、セルフシャンプーでさっぱりしませんか？涼しく快適な預かり部屋も準備してお待ちしてます。

※価格は全て税込価格になります。

Inter Proto Sereis
Round 5-6









Inter Proto Series POWERED BY KeePer

ついに迎える最終決戦。
4人が争うIPSタイトルの行方はいかに

今シーズンは全3大会6レースで争われるインタープロトシリーズ(IPS)。いよいよその最終大会が幕を開ける。ここまでの2大会は、佐々木大樹と卜部和久の2人が大会ごとに勝利を分け合っている。開幕大会で3位表彰台を獲得している卜部が佐々木を上回り、14ポイント差のランキングリーダーについている状況だ。ここに、山下健太、小林利徠斗、ロニー・クインタレッリ、牧野任祐と続いているが、1大会で最大43ポイントが獲得できることを考えると、チャンピオン候補は小林までの4名に絞られる。まずは最終大会を前にポイントリーダーに躍り出た卜部。開幕大会はクインタレッリと佐々木のコンビに予選で先行を許し4番手(クインタレッリがジェントルマンレースでのアクシデントから出走できず、事実上3番手)からのスタートで表彰台をもぎ取った。第2大会では昨シーズンを席巻した速さを取り戻してポールポジションを獲得。そのまま第3戦、第4戦ともに一度もトップを譲らずに2連勝を飾った。この第2大会はヘビーウェットコンディションで、非常に難しいバトルとなったが、その中で気を吐いたのが小林利徠斗。第３戦では10番手スタートから次々とライバルを攻略。表彰台まであと一歩の4位フィニッシュを果たした。第4戦でリタイアとなったため大量得点はならなかったが、トップと35ポイント差でチャンピオン争いに残っている。そして、今季の開幕戦で2連勝を飾った佐々木がランキング2位。佐々木は昨年IPSでの初勝利を挙げたが、1レース目での勝利だったためポディウムには登壇できず。重要な2レース目で勝利を収めた今季開幕戦で嬉しいポディウム獲得となった。ランキング3位の山下は、優勝こそないもののここまでの4戦すべてでトップ4フィニッシュを飾っている高いレベルでの安定した成績が目を引く。逆転チャンピオンのためにも今季初優勝を狙っているはずだ。









2026 Inter Proto Series Point Ranking

Rank	No.	Driver	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	TOTAL
PROFESSIONAL CLASS									
1	3	卜部 和久	16	12	2+20	20			70
2	88	佐々木 大樹	20	20	8	8			56
3	44	山下 健太	12	10	1+16	16			55
4	32	小林 利徠斗	1+8	16	10	0			35
5	16	Ronnie QUINTARELLI	2+0	0	12	12			26
6	37	牧野 任祐	4	6	6	6			22
7	55	野尻 智紀	6	8	2	4			20
8	27	梅垣 清	-	-	4	10			14
9	96	阪口 晴南	10	0	0	0			10
10	27	三浦 柚貴	0	4	-	-			4
11	71	国本 雄資	2	2	0	0			4
12	8	阪口 良平	0	0	0	2			2
13	61	小山 美姫	0	0	0	0			0
Gentleman									
1	8	中島 功	16	16	16	20			68
2	96	末長 一範	2+0	2+20	1+20	16			61
3	55	山川 幸夫	20	1+12	12	10			55
4	61	米谷 浩	10	8	8	12			38
5	3	FLYING RAT	12	10	2+10	2+0			36
6	16	渡邊 久和	8	6	6	8			28
7	88	八木 常治	6	4	4	4			16
8	27	山﨑 哲之	4	2	2	6			16
Gentleman Expert									
1	44	山口 達雄	20	2+20	1+2+20	2+16			83
2	37	大蔵 峰樹	2+12	1+16	16	20			67
3	32	永井 秀貴	16	12	12	10			50
4	71	大山 正芳		10	10	12			32

Point SYSTEM

	PP	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	FL
Race 1	2	20	16	12	10	8	6	4	2	1
Race 2	※2	20	16	12	10	8	6	4	2	

PP= ポールポジション　FL=ファステストラップ　※プロフェッショナルクラスは Race1 のみに与えられる。
FL は Race 1/ 2 を通じてのファステストラップに 1 ポイント与えられる。

PRIZE 大会賞典

	大会第1レース	大会第2レース
優勝	賞金 200,000円	賞金 600,000円
2位	賞金 100,000円	賞金 300,000円
3位	賞金 70,000円	賞金 200,000円
4〜12位	ー	賞金 50,000円

※賞典の対象はプロフェッショナルクラスのみ

ポールポジション賞
賞金 50,000円
ファーステスト賞
賞金 50,000円
ベストガレージ賞
賞金 100,000円

ジェントルマンの王座争い、SUPRAの激戦にも注目

IPSジェントルマンレースに目を向けると、エキスパートクラスで3勝を飾っている山口達雄がリードを保ち、大蔵峰樹が16ポイント差で追いかけている状況。ランキング3位の永井秀貴は山口に対し33ポイント差と離れているが、数字上ではまだ逆転タイトルの可能性を残している。エキスパートクラスでは、タイトルの行方はもちろんだが、最終ラップの最終コーナーまで激しい三つ巴の戦いが毎戦繰り広げられるプロ顔負けの超接近バトルにも注目いただきたい。いっぽうジェントルマンクラスは、今季IPS初参戦となった中島功が第4戦での嬉しい初勝利を筆頭にここまで4戦すべてで表彰台に上がっており、第2戦と第3戦で勝利を挙げている末長一範に対し7ポイントリードしてランキングトップに着けている。ランキング3位にいるのは、こちらも今季IPSデビューイヤーにして開幕戦で勝利を収めた山川幸夫で、中島に対しては13ポイント差と、十分逆転タイトルを狙える位置。数字上では、米谷浩、FLYING RAT、渡邊久和までタイトル獲得の権利は持っているが、おそらくここまでポディウムを分け合っているランキング上位3名の戦いになるだろう。勝ち星を増やしてシリーズチャンピオンに輝くのは、いったいどのドライバーだろうか。そして、IPSとともにレースを盛り上げるのがSUPRAクラス。トヨタのGR SUPRA GT4 EVO2のワンメイクで争われるこのクラスは、今季は堤優威と、スポット参戦の坪井翔、平良響が勝利を分け合っている。今大会は坪井が欠場、1大会ぶりに平良が復帰となる。第2戦では堤を捕えて勝利を飾った平良が、今回も堤と激しいバトルを繰り広げるのだろうか。最終戦は、どのドライバーも締めくくりにふさわしいベストな戦いをしてくれるはず。タイトルを懸けた戦い、そして今季最後の勝利を懸けた戦い。2026年シーズンを締めくくる熱戦に期待したい。



KeePer
FOR SMART CAR LIFE



すべての車好きに贈るレーシング番組。

RACING LABO

毎週土曜24:00 テレ東系列6局ネットにて放送

RACING LABO SUPER GT + KYOJO

SUPER GT
混走だからこそ駆け引き+展開が面白い ／ 300クラス×500クラス大混戦 全7戦(予定20話)

さらに
「私が、私が絶対一番速い」日本&世界の女子入魂 ／ KYOJO CUP 全5大会10戦(予定10話)
トップレーサーが同じ車で本気で戦ったらどうなる ／ IPS インタープロトシリーズ 全3大会6戦(予定6話)
SUPER GTのスーパーカーかっこいい普段姿・走り ／ インプレッションなど話題満載 (予定10話+α)

TVerで毎回見逃し配信中
(番組放送後から1週間)

KeePerすると、雨が降っても汚れないし
むしろ キレイになるので、雨がとっても楽しみになります。

メニューを見る

KEEPER DIA II KeePer フレッシュキーパー FRESH KEEPER

※コーティングの性能は、日本特有の様々な環境があるため、あらゆる汚染物質に効果が得られるものではありません。

Round 3 Entry List

Gentleman
10月31日(土) 公式予選 9:00～ 9:20
10月31日(土) 第5戦決勝レース 14:20～ 12周 or25分
11月1日(日) 第6戦決勝レース 8:55～ 12周 or25分

Professional
10月31日(土) 公式予選 10:00～10:15
11月1日(日) 第5戦決勝レース 14:20～ 9周 or17分
11月1日(日) 第6戦決勝レース 14:50～ 9周

Car No.	Class	Gentleman Driver	Professional Driver	Car Name	Maintenance Garege	Entrant
Inter Proto Serieis						参加台数:11台
3	Gen	FLYING RAT	卜部 和久	INGING MOTORSPORT	株式会社インギング	INGING MOTORSPORT
8	Gen	中島 功	阪口 良平	アキランドIPS	アキランドレーシング	アキランドレーシング
16	Gen	渡邊 久和	Ronnie QUINTARELLI	ララパルーザ	株式会社東名スポーツ	TOMEI SPORTS
32	Expert	永井 秀貴	小林 利徠斗	NETZ NOVEL MIE	GR Garage Yokkaichi	GR Garage Yokkaichi
37	Expert	大蔵 峰樹	牧野 任祐	キーパー号	K-Design	K-Design
44	Expert	山口 達雄	山下 健太	NAVUL	カーモスト	NAVUL
55	Gen	山川 幸夫	野尻 智紀	人馬一体ドライビングアカデミー	株式会社ルーキーレーシング	人馬一体ドライビングアカデミー
61	Gen	米谷 浩	小山 美姫	ヨネタニアキランドIPS	アキランドレーシング	アキランドレーシング
71	Expert	大山 正芳	国本 雄資	ダイワNアキランドIPS	アキランドレーシング	アキランドレーシング
88	Gen	八木 常治	佐々木 大樹	Pastel Motorsport	株式会社東名スポーツ	TOMEI SPORTS
96	Gen	末長 一範	阪口 晴南	K-tunes Racing	K-tunes Racing	K-tunes Racing
Supra						参加台数:6台
11		植田 正幸	石川 京侍	ルーニーダイワNアキランド GR Supra GT4 EVO2	アキランドレーシング	アキランドレーシング
17		IKEDA	中山 雄一	HW GR Supra GT4 EVO2	山口トヨペット株式会社	CERUMO CRA
28		FUZZY	堤 優威	KK GR Supra GT4 EVO2	山口トヨペット株式会社	CERUMO CRA
38		卜部 治久	松井 孝允	P.MU GR Supra GT4 EVO2	山口トヨペット株式会社	CERUMO CRA
39		豊島 豊	平良 響	TR GR Supra GT4 EVO2	山口トヨペット株式会社	CERUMO CRA
610		佐藤 元春	柴田 優作	KSD GR Supra GT4 EVO2	NILLZ Racing Factory	KOSHIDO RACING

タイヤ:ヨコハマのコントロールタイヤ

レコードタイム

IPS	Professional	佐々木 大樹	1'43.568	2021/01/30
IPS Gentleman	Expert	山口 達雄	1'45.154	2021/01/30
IPS Gentleman	Gentleman	寺川 和紘	1'45.378	2021/01/30
Supra	Professional	堤 優威	1'44.458	2025/11/08
Supra	Gentleman	Motoharu Sato	1'46.934	2026/05/09

協賛

後援

自由民主党モータースポーツ振興議員連盟

主催

3 INGING MOTORSPORT



Professional Driver
卜部　和久
Urabe Kazuhisa
2026 Driver's Ranking
1位　70points

プロフェッショナルクラスには、スーパーフォーミュラ・ライツやSUPER GTでも活躍中の卜部和久が参戦。第2大会ではポールポジション獲得から2連勝を飾り、最終戦を前にポイントリーダーに。連覇の期待がかかる。

Gentleman Driver
Gentleman
FLYINGRAT
フライング　ラット
2026 Driver's Ranking
Gentleman
5位　36points

8 アキランドIPS



Professional Driver
阪口　良平
Sakaguchi Ryohei
2026 Driver's Ranking
12位　2points

昨年までスープラクラスに参戦していた阪口良平と、FIA F4のインディペンデントクラスに出場している中島功のコンビ。IPS参戦初年度の中島が第4戦で嬉しい初優勝を飾りランキングトップに。この勢いでチャンピオンに輝くか。

Gentleman Driver
Gentleman
中島　功
Nakashima Isao
2026 Driver's Ranking
Gentleman
1位　68points

日本の医療アートメイク業界のパイオニア
Medicalbrows メディカルブロー
グループ月間症例 5,000件以上



スッピン眉なしさんも アートメイクで…
Before / After
寝起き0秒、眉美人
Before / After
その他症例は 公式 instagram で！

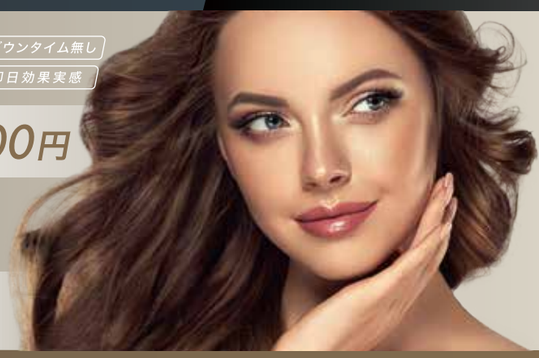
Medicalbrows メディカルブロー
お電話でのお問合せ 0570-078-889 カスタマーサポート受付時間 9:00～20:00
WEBでのお問合せ

男を磨く眉アートメイク
Before / After



MEN'S BROWS メンズブロー
0570-078-088 カスタマーサポート受付時間 9:00～20:00
公式 instagram にて多数症例を公開中！ >>>

痛みを抑えた 切らないリフトアップ治療 ダウンタイム無し 即日効果実感
HIFU（ウルトラセル Q+）300shot 通常 ~~33,000円~~ >>> 26,400円
タイムチャージ式 医療脱毛 コース契約不要 都度払い制
時間内脱毛し放題!! 30分 >>> 16,500円



表参道メディカルクリニック OMOTESANDO MEDICAL CLINIC
お電話でのお問合せ 0120-822-111 カスタマーサポート受付時間 9:00～19:00
WEBでのお問合せ



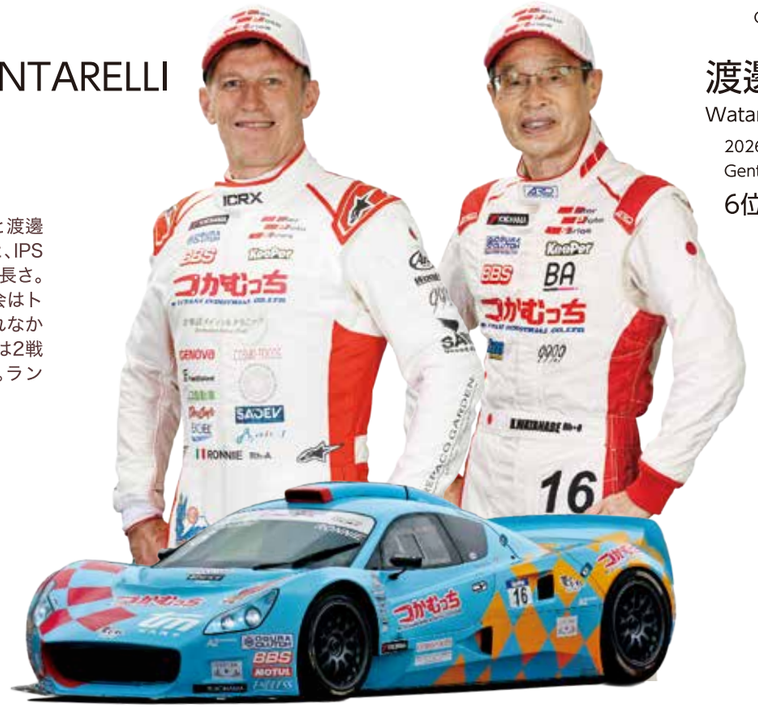
InterProto 出場記念クーポン　ご利用の際のご注意
※アートメイクは「アーティストランク」以上が割引対象となります
※メディカルブロー提携クリニックではご利用いただけません
※予約時に出場記念クーポン使用とお伝えの上、ご来院時にこちらの冊子をご持参ください

COUPON
美容治療 / アートメイク各種
20%OFF
インタープロト出場記念クーポン
アートメイクはアーティストランク以上が対象です

16 ララパルーザ

Professional Driver
Ronnie QUINTARELLI
ロニー・クインタレッリ
2026 Driver's Ranking
5位　26points

ロニー・クインタレッリと渡邊久和のコンビは13年目と、IPSのなかでもトップクラスの長さ。クインタレッリは開幕大会はトラブルで決勝レースを走れなかったが、強雨の第2大会では2戦連続で3位表彰台を獲得。ランキング5位に着けている。



Gentleman Driver
Gentleman
渡邊　久和
Watanabe Hisakazu
2026 Driver's Ranking
Gentleman
6位　28points









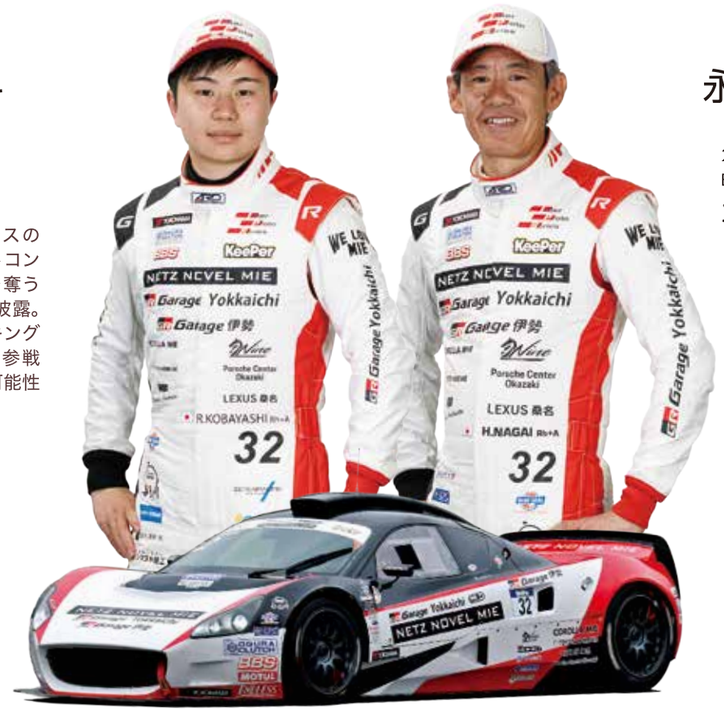




32 NETZ NOVEL MIE

Professional Driver
小林　利徠斗
Kobayashi Rikuto
2026 Driver's Ranking
4位　35points

プロフェッショナルクラスの小林利徠斗はフルウェットコンディションの第3戦で目を奪うオーバーテイクショーを披露。その活躍でポイントランキングも4位に着け、レギュラー参戦初年度でチャンピオンの可能性を残している。



Gentleman Driver
Expert
永井　秀貴
Nagai Hideki
2026 Driver's Ranking
Expert
3位　50points

37 キーパー号

Professional Driver
牧野　任祐
Makino Tadasuke
2026 Driver's Ranking
6位　22points

エキスパートクラスで毎戦のように好バトルを見せてくれる大蔵は、第2大会の第４戦で今季初勝利を飾った。すでに３勝を挙げている山口を破って連覇を達成するためには、今大会で連勝が必要。ディフェンディングチャンピオンの強さに期待したい。



Gentleman Driver
Expert
大蔵　峰樹
Okura Mineki
2026 Driver's Ranking
Expert
2位　67points

NAPAC

Nippon Auto Parts Aftermarket Committee

NAPACは安全・安心なカスタマイズパーツを推奨します



NAPACは、設立21周年を迎えた自動車用品・部品の業界団体です。
NAPACでは、より安全・安心なカーカスタマイズライフを提供するためアルミホイール、スポーツマフラー、その他カスタマイズパーツの「基準制度」を運用しており、基準に裏付けされた確かなパーツの普及拡大に努めています。

アルミホイール基準制度

JAPAN LIGHT ALLOY WHEEL AUTHORITY JWA

JAWA基準
安全・安心な「アルミホイール」選びのために

JWA 品質認定証
このホイールは国土交通省の定める「軽合金製ディスクホイールの技術基準（乗用車用は JIL、トラック・バス用には JIL-T）」に適合し、自動車用軽合金製ホイール試験協議会の強度確認試験に合格の上 VIA 登録をした製品であることを証します。
NAPAC事務局 03-5719-9177

JAWA品質認定証
国が定める技術基準 JIL または JIL-T に適合かつ VIA 登録された安全なJAWA基準アルミホイールの証

JAWA

JAWAマーク
2020年1月以降に発売された
JAWA基準アルミホイールの証（任意表示）

VIA

VIAマーク
第三者検査機関（一財）日本車両検査協会（VIA）の確認試験に合格し、VIA登録されたアルミホイールの証

カスタマイズパーツ基準制度

ASEA AUTOSPORTS & SPECIAL EQUIPMENT AUTHORITY

ASEA基準
安全・安心な「カスタマイズパーツ」選びのために

ASEA 品質基準 ASEA 基準会員証

ASEA基準会員証【会員制度】
ASEA基準会員の安全・安心なカスタイマイズパーツの証

NAPAC 基準登録証 1234567890
本製品はNAPAC 加盟メーカーがASEA 技術部会にて登録した製品であることを証します。
基準の詳細については以下のQRから御確認下さい。
NAPAC事務局 Phone: 03-5437-6881

ASEA基準登録証【登録制度】
会員制度に加え、ASEA技術部会による仕様等の確認を経て登録された証

NAPAC 基準認定証 1234567890
本製品はASEA 技術部会の定めた厳格な自主基準に合格した製品であることを証します。
基準の詳細については以下のQRから御確認下さい。
NAPAC事務局 Phone: 03-5437-6881

ASEA基準認定証【認定制度】
会員制度に加えて、厳しい基準を満たすことを確認し、認定された証

スポーツマフラー基準制度

JASMA The Japan Automotive Sports Muffler Authority

JASMA基準
安全・安心な「スポーツマフラー」選びのために

JASMA 000 00S00000 MADE IN JAPAN

JASMAプレート
平成22年（2010年）3月31日までの
生産車両のJASMA基準をクリアした
スポーツマフラーの証

JASMA 000 JQR00000000S EG1 EG11

H22規制会員専用プレート
平成22年（2010年）4月1日以降の
生産車両用の交換マフラーの事前認証を
取得したマフラーの証

www.napac.jp

8月2日は AP82 オートパーツの日

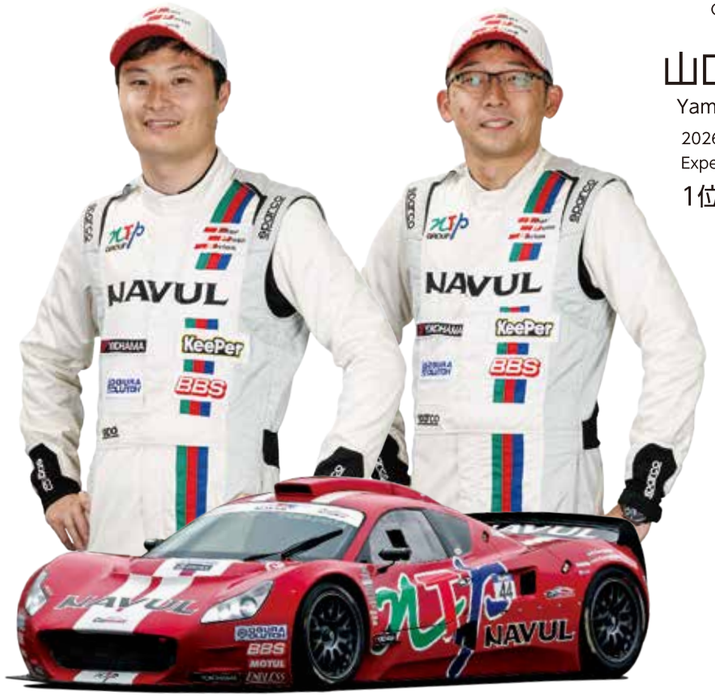
カスタマイズパーツご購入の際は、
NAPACが運用する「基準制度」を満たした証をご確認ください。

一般社団法人 日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会
〒141-0031 東京都品川区西五反田8-1-14 最勝ビル11F-5　TEL:03-5437-6881　FAX:03-5437-6882

44 NAVUL

Professional Driver
山下　健太
Yamashita Kenta
2026 Driver's Ranking
3位　55points

エキスパートクラスでは山口がランキングトップに着け、プロフェッショナルクラスでは山下健太がタイトル獲得の権利を残すランキング３位。両クラスでのダブルチャンピオンに期待だ。



Gentleman Driver
Expert
山口　達雄
Yamaguchi Tatsuo
2026 Driver's Ranking
Expert
1位　83points

55 人馬一体ドライビングアカデミー

Professional Driver
野尻　智紀
Nojiri Tomoki
2026 Driver's Ranking
7位　20points

IPSに久々復帰の野尻智紀と、IPSデビューイヤーの山川幸夫のコンビ。山川はルーキーながらここまで全戦トップ４フィニッシュでランキング３位に着けている。逆転タイトル獲得のために、開幕以来の勝利が欲しいところだ。



Gentleman Driver
Gentleman
山川　幸夫
Yamakawa Sachio
2026 Driver's Ranking
Gentleman
3位　55points



STRADIAIII NUGRAIN
ストラディアスリー・ヌグレ

BRIDE SPORT & RELAXING SEAT
BRIDE CO.,LTD.
ブリッド株式会社 BRIDE®は、ブリッド株式会社の登録商標です。
〒476-0015 愛知県東海市東海町1丁目11番1号
電話.(052)689-2611 ファクス.(052)689-2612
※掲載製品の仕様・デザイン・価格等の変更及び、販売終了を予告なく行う場合がありますので、予めご了承ください。

ブリッド&エディルブの最新情報は、こちら!
https://brideseats.com

BRIDE HOLDING MONSTER
Make the sitting happy.

61 ヨネタニアキランドIPS

Professional Driver
小山　美姫
Koyama Miki
2026 Driver's Ranking
一位　ーpoints

ジェントルマンドライバーの米谷浩はフルシーズン2年目の年。雨の第４戦で３位に入り、今季初表彰台を獲得した。女性ドライバーで初めてIPSレギュラー参戦している小山美姫の走りにも注目したい。



Gentleman Driver
Gentlman
米谷　浩
Yonetani Hiroshi
2026 Driver's Ranking
Gentleman
4位　38points

71 ダイワNアキランドIPS

Professional Driver
国本　雄資
Kunimoto Yuji
2026 Driver's Ranking
11位　4points

今季エキスパートクラスへとスイッチした大山正芳。山口、大蔵、永井らとのバトルはなかなかハードだが、雨の第４戦では着実な走りで３位に。今季初表彰台を獲得した。プロドライバーの国本とともに、上位フィニッシュでシーズンを締めくくりたいところ。



Gentleman Driver
Gentlman
大山　正芳
Oyama Masayoshi
2026 Driver's Ranking
Expert
4位　32points

YOKOHAMA

詳しくはWEBへ
ヨコハマが氷上性能を磨きつづける理由とは



日本の
冬の安全は、
スタッドレス
タイヤが守る。

凍結路面での制動距離はタイヤで変わる



詳しくはカタログ・HPをご覧ください。

製品情報はこちら

横浜ゴム株式会社 0120-667-520
https://www.y-yokohama.com/brand/tire/iceguard/
冬の道も安全運転をこころがけましょう
月に一度は空気圧の点検を。



iceGUARD アイスガード

88 Pastel Motorsport

Professional Driver
佐々木　大樹
Sasaki Daiki
2026 Driver's Ranking
2位　56points

開幕大会で、初めて大会２レース目の勝利を飾りポディウムの頂点に立った佐々木大樹。第２大会は雨の中でやや苦戦し表彰台を逃したが、それでもポイントを重ねてランキング２位に着けている。序盤の勢いを取り戻しタイトル獲得なるか。



Gentleman Driver
Gentlman
八木　常治
Yagi Tsuneharu
2026 Driver's Ranking
Gentleman
7位　16points

96 K-tunes Racing

Professional Driver
阪口　晴南
Sakaguchi Sena
2026 Driver's Ranking
9位　10points

ここまで４戦中２勝を挙げている末長一範は、ランキングトップに８ポイント差の２位に浮上した。残り２レースと考えると、その差はわずかだ。プロフェッショナルクラスの阪口晴南は開幕戦で４位。最終戦では優勝争いに加わるか。



Gentleman Driver
Gentlman
末長　一範
Suenaga Kazunori
2026 Driver's Ranking
Gentleman
2位　61points

SUPRA



maintenance Garage
アキランド レーシング

Entrant
アキランド レーシング

ジェントルマンドライバー植田正幸、プロドライバー石川京侍の関西コンビ。開幕大会では植田が2戦連続表彰台を獲得、石川は後続をおさえ切って表彰台を獲得した。第２大会は出走できなかったが、再びの上位争いに期待。

Professional Driver
石川　京侍
Ishikawa Keishi
2026 Driver's Ranking
6位　22points

Gentleman Driver
植田　正幸
Ueda Masayuki
2026 Driver's Ranking
2位　61points

11 ルーニーダイワNアキランド GR Supra GT4 EVO2



maintenance Garage
山口トヨペット

Entrant
CERUMO CRA

ジェントルマンドライバーIKEDAと今大会でコンビを組むのは、中山雄一。第２大会では坪井に続いて２位表彰台を獲得した。IKEDAは第２大会予選でクラス最速タイムを記録しポールポジション獲得。最終大会では今季初勝利を飾りたい。

Professional Driver
中山　雄一
Nakayama Yuichi
2026 Driver's Ranking
5位　26points

Gentleman Driver
IKEDA
イケダ
2026 Driver's Ranking
3位　46points

17 HW GR Supra GT4 EVO2



maintenance Garage
山口トヨペット

Entrant
CERUMO CRA

ジェントルマンドライバーのFUZZYは前週のスーパー耐久シリーズにも参戦。チェッカードライバーを務めた。第４戦では３位表彰台を獲得しており、最終戦の今回はさらに上を目指しているはず。今大会は堤優威とコンビを組む。

Professional Driver
堤　優威
Tsutsumi Yuui
2026 Driver's Ranking
1位　67points

Gentleman Driver
FUZZY
ファジー
2026 Driver's Ranking
4位 40points

28 KK GR Supra GT4 EVO2



maintenance Garage
山口トヨペット

Entrant
CERUMO CRA

プロフェッショナルクラスの松井孝允は開幕大会以来の38号車。第3戦では3位になったが今季はまだ表彰台にあがっていない。堤や中山とのトップ争いを制することができるだろか。

Professional Driver
松井　孝允
Matsui Takamitsu
2026 Driver's Ranking
6位　22points

Gentleman Driver
卜部　治久
Nakashima Isao
2026 Driver's Ranking
6位　24points

38 P.MU GR Supra GT4 EVO2



maintenance Garage
山口トヨペット

Entrant
CERUMO CRA

開幕大会の第2戦で優勝を飾った平良響が、1大会のお休みを挟んで再登場だ。ジェントルマンドライバーの豊島豊とともに、シーズン締めくくりの1戦をどう戦うか、期待。

Professional Driver
平良　響
Taira Hibiki
2026 Driver's Ranking
3位　36points

Gentleman Driver
豊島　豊
Toyoshima Yutaka
2026 Driver's Ranking
5位　28points

39 TR GR Supra GT4 EVO2



maintenance Garage
NILLZ Racing Factory

Entrant
KOSHIDO RACING

今シーズン新たに仲間に加わったKOSHIDO RACINGは、なんとジェントルマンクラスでここまで全戦全勝。開幕大会ではコースレコードも更新している。実力は十分で、シーズン完全制覇の期待もかかる。

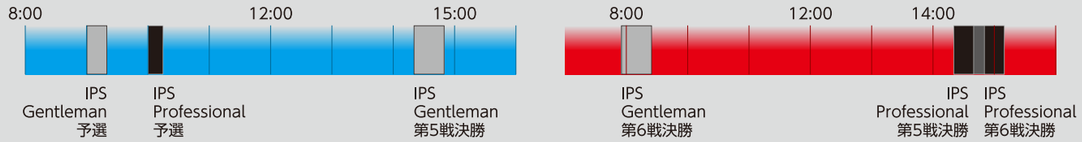
Professional Driver
柴田　優作
Shibata Yusaku
2026 Driver's Ranking
4位　34points

Gentleman Driver
佐藤　元春
Sato Motoharu
2026 Driver's Ranking
1位　87points

610 KSD GR Supra GT4 EVO2

Inter Proto Series POWERED BY KeePer

インタープロト　レースフォーマット



インタープロトシリーズは、ジェントルマンドライバーとプロドライバーが1台のマシンをシェアしてレースに参戦する。ただし、レース中にドライバー交代をするわけではなく、それぞれがジェントルマンレース、プロフェッショナルレースに参戦し、それらを1台で戦い抜くという方式だ。途中でアクシデントやトラブルに見舞われてマシンが走行不能になってしまうと、その後のレースに支障が出てしまうため、無事にマシンを相方に渡すのも重要な役目なのだ。

土曜日の午前にジェントルマンとプロの予選が行われ、午後にはジェントルマンレースの1戦目が行われる。1戦目のグリッドは午前の予選で計測されたベストタイム順で決められる。2戦目は日曜日の午後に行われ、こちらは前日の予選でのセカンドベストタイム順でグリッドに並び、1戦目と同様に12周もしくは25分で争われる。

一方、プロフェッショナルレースは、日曜日の午後に2戦連続で行われ、9周もしくは17分で争われる。1戦目のグリッドは予選でのベストタイム順で決められるが、２戦目のグリッドについては、1戦目にチェッカーフラッグを受け、各車はピットに戻らずそのままホームストレートへもどり、1戦目のリザルト順に整列することで、2戦目のグリッドとなる。２戦目はこの状態のままローリングスタートが切られ、レースが開始される。

KYOJO CUP
Round 5















2026 KYOJO CUP Point Ranking

Rank	No.	Driver	Rd.1 Q	Rd.1 S	Rd.1 F	Rd.2 Q	Rd.2 S	Rd.2 F	Rd.3 Q	Rd.3 S	Rd.3 F	Rd.4 Q	Rd.4 S	Rd.4 F	Rd.5 Q	Rd.5 S	Rd.5 F	TOTAL
1	39	富下 李央菜	3	10	20			6	3	10	15		3	5				75
2	10	Joanne Ciconte	2	8	15		3	8		5	8		6	15				70
3	36	斎藤 愛未	1	4	11	3	8	20	1	6	11		4					69
4	38	佐藤 こころ		6	5		6	11		3	4	1	8	20				64
5	7	翁長 実希		5	8	2	5	15				3	10	11				59
6	86	下野 璃央		3	4		4		2	8	20			8				49
7	18	三浦 愛		2	6	1	10			1			5					25
8	3	松井 沙麗			2			3		2	6		2					15
9	8	佐々木 藍咲		1	1		1			4	3	2	1	1				14
10	11	Paige Raddatz						5			5			2				12
11	32	金本 きれい						2			2			6				10
11	37	Hana Burton			3		2	4			1							10
13	17	白石 いつも						1						4				5
14	4	平川 真子												3				3

※Q=Qualifying　S=Sprint　F=Final

Point SYSTEM

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
予選	3	2	1							
Sprint	10	8	6	5	4	3	2	1	ー	ー
Final	20	15	11	8	6	5	4	3	2	1

PRIZE 大会賞典

大会第1レース		
優勝	賞金	1,500,000円
2位	賞金	700,000円
3位	賞金	400,000円
4位	賞金	250,000円
5位	賞金	150,000円
6位	賞金	100,000円

ポールポジション賞
賞金 30,000円
ファーステスト賞（Sprint）
賞金 30,000円
ファーステスト賞（Final）
賞金 30,000円

最後に栄冠をつかむのは誰だ!?
いよいよ運命の最終決戦

KYOJO

2026年の「KYOJO CUP」もいよいよ最終戦を迎える。なんといってもチャンピオン争いが今大会のメイントピックだ。現在、ランキングトップでシリーズを引っ張っているのは75ポイントを獲得している富下李央菜。開幕戦でKYOJO FORMULAでは自身初のポールポジションを獲得すると、そのままトップを譲らずSprint、Finalを制覇し、ランキングトップを走ってきた。Rd.2では表彰台を獲得できずに斎藤愛未にランキングで逆転を許したが、Rd.3では今季2度目のポールポジションを獲得し、Sprintで今季3勝目を記録。Rd.4を終えて2位に5ポイント差をつけてトップに返り咲いている。予選で速さを見せられたラウンドでは決勝レースでもその勢いを維持しているだけに、初の戴冠に向けて重要なのは予選での位置だろう。その富下を5ポイント差で追いかけているのは今季KYOJO CUPデビューとなったジョアンヌ・チコンテ。ルーキーながら開幕戦から速さを示し、ここまで4ラウンド8戦のうち4戦で表彰台を獲得している。チコンテも富下と同様にRd.2、Rd.3ではライバル勢の躍進にやや後れを取りランキングも後退したが、今季2度目のスーパーフォーミュラとの併催大会だったRd.4でSprint、Final連続でポディウムフィニッシュを果たし、ランキングでも2位を取り戻した。1大会で最大33ポイントを獲得できることを考えると、現在の5ポイント差はほんのわずか。富下よりも前でゴールできれば逆転は可能だが、ここまで一度もトップフィニッシュを果たせていないだけに、最終戦では勝利を収めてチャンピオンにたどり着きたいと思っているはずだ。そのチコンテにわずか1ポイント差で3位に着けているのが斎藤愛未。8戦中5戦で表彰台獲得という安定した成績が彼女をランキング上位に留まらせている。昨年はSprintでの勝利は挙げられたものの、20ポイントと大量得点を稼げるFinalでは2位が最高位だった。今季は、得意としているスーパーフォーミュラと併催したRd.2で念願のFinal制覇を果たし、Rd.3でも2戦で表彰台を獲得。2024年に続き2度目のチャンピオンに向けて、シーズン序盤の強さを再び見せてほしいところだ。さらに、ランキング4位にはRd.4で悲願の初優勝を果たした佐藤こころ、5位に翁長実希、そして6位に着けている昨年チャンピオンの下野璃央までが、数字上ではタイトル獲得の権利をもってこの最終大会に挑むこととなる。





それぞれの集大成へ
己のベストを懸けた最終戦

もちろん、見どころはチャンピオン争いだけではない。シーズン最終戦は、どの選手も最高の締めくくりを目指して最後まで戦い抜くはずだ。Rd.4の予選でチームメイトの翁長に迫る速さを見せ自己ベストの2番グリッドを獲得する勢いを見せた佐々木藍咲は、残念ながらまだトップ3フィニッシュを果たせておらず、昨年のRd.3 Final以来の表彰台獲得を目指しているだろう。また、ドライバーとして久々にKYOJO CUPへと戻ってきた三浦愛も、Rd.2 Sprintの優勝だけでは満足していないはず。KYOJO CUP最年少ドライバーの松井沙麗は、佐藤こころとともにF1アカデミーのルーキーテストに参戦し、様々な学びを得てKYOJO CUP後半戦に挑んでいる。Rd.4 Finalでは思わぬ接触アクシデントに動揺の涙を流したが、それも糧にして、この最終戦ではさらに成長した姿を見せてくれるに違いない。また、Rd.4でアクシデントを切り抜け、最後までガッツある走りでライバルを追い上げて自己ベストの5位フィニッシュを果たした金本きれいにも注目だ。今シーズンはVITAレースにも参戦し、KYOJO VITAと合わせてトリプルエントリーとなった大会も。ハードワークの中で磨いてきた走りで、自己ベスト更新に期待したい。そして、シーズン最終戦にして懐かしい顔も戦列に加わることになった。昨シーズン参戦していた織戸茉彩が、新たなチーム「NEW' S RACING CLUB」からスポット参戦。今シーズンはJAPAN CUPに参戦し、クラスチャンピオンに輝いた。久々のフォーミュラカーでのレースでどんな走りを見せるのか、楽しみなところだ。それぞれが自らの最高を追い求め、全身全霊で挑むシーズン最後の舞台。そのひたむきな挑戦に、熱い声援を送ってほしい。

Round 5 Entry List

10月31日(土) 公式予選 9:30～ 9:50
10月31日(土) KYOJO Sprint 13:10～ 10周
11月1日(日) KYOJO Final 12:45～ 15周

参加台数:21台

Car No.	Driver	Car Name	Team	Entrant
3	松井 沙麗	KeePer KONDO RACING KC-MG01	KeePer KONDO RACING	KONDO RACING
4	平川 真子	NTT docomo Business ROOKIE KC-MG01	NTT docomo Business ROOKIE	平川 真子
7	翁長 実希	nat KDDP KC-MG01	nat team KCMG	nat team KCMG
8	佐々木 藍咲	nat KDDP KC-MG01	nat team KCMG	nat team KCMG
9	Kelsey Pinkowski	VINIA KDDP KC-MG01	nat team KCMG	nat team KCMG
10	Joanne Ciconte	FLEET KDDP KC-MG01	nat team KCMG	nat team KCMG
11	Paige Raddatz	富士山静岡レーシングKC-MG01	富士山静岡レーシング	クボタモータースポーツ
12	RINA ITO	富士山静岡レーシングKC-MG01	富士山静岡レーシング	クボタモータースポーツ
17	白石 いつも	Team ReFa Aira KC-MG01	Team ReFa with AIWIN	AIWIN
18	三浦 愛	Team ReFa KC-MG01	Team ReFa with AIWIN	AIWIN
32	金本 きれい	ミハラ自動車エムクラフトKC-MG01	MIHARA RACING TEAM	MIHARA RACING TEAM
33	岩岡 万梨恵	FUKUDA racing KC-MG01	FUKUDA racing	FUKUDA racing
35	Sitarvee Limnantharak	INGING 2W Singha Sittipol Nexzter KC-MG01	INGING 2W Zoomies Singha Sittipol Nexzter	INGING MOTORSPORT
36	斎藤 愛未	SCS TOM'S KYOJO KC-MG01	SCS TEAM TOM'S	TOM'S KYOJO
37	Hana Burton	SCS TOM'S KYOJO KC-MG01	SCS TEAM TOM'S	TOM'S KYOJO
38	佐藤 こころ	OPTIMUS CERUMO・INGING KC-MG01	TEAM OPTIMUS CERUMO・INGING	INGING MOTORSPORT
39	富下 李央菜	OPTIMUS CERUMO・INGING KC-MG01	TEAM OPTIMUS CERUMO・INGING	INGING MOTORSPORT
57	Zhao Yun Qing	ATEAM Buzz Racing KC-MG01	ATEAM Buzz Racing	Buzz Racing
59	織戸 茉彩	NEW'Z KC-MG01	NEW'Z RACING CLUB	NEW'Z RACING CLUB
86	下野 璃央	Dr.Dry with Team IMPUL KC-MG01	Dr.Dry with Team IMPUL	Dr.Dry Racing Team
87	山本 龍	ARF★お先にどうぞ★KC-MG01	Autolook Racing	Autolook Racing

型式:KC-MG01 タイヤ:ブリヂストンのコントロールタイヤ

協賛

オフィシャルパートナー

後援

スポーツ庁 自由民主党モータースポーツ振興議員連盟 国土交通省中部運輸局 静岡県

主催

KYOJO CUP
Car & Driver Line Up

3

saramatsui33
@saramatsui33
@sara_williamsracing

Ranking 8
Points 15

KYOJO CUP最年少の15歳は今シーズンが4輪デビュー。1戦1戦で様々なことを吸収し、第3戦Sprintでは自己ベストの5位フィニッシュを果たした。シーズン集大成は表彰台争いに期待したい。



松井 沙麗
Sara Matsui

KeePer KONDO RACING

SUPER FORMULA、SUPER GTでもおなじみのチームがまたーつ、KYOJO CUPに加わった。KeePerカラーのマシンを操るのは大注目の松井沙麗だ。



Car Name
KeePer KONDO RACING KC-MG01

4

makohirakawa07

Ranking 14
Points 3

今シーズンは全日本ラリーと並行してのKYOJO CUP参戦で、第1戦、第3戦をスキップ。第4戦Finalでは、予選13位からポジションを上げて8位入賞を飾った。



平川 真子
Mako Hirakawa

NTT docomo Business ROOKIE

SUPER GTやスーパーフォーミュラでもおなじみのチーム。2024年から平川真子をサポートし、カラーリングはスーパーフォーミュラと全く同じカラーリングでKYOJO CUPを戦う。



Car Name
NTT docomo Business ROOKIE KC-MG01

32

kanemoto.kilei
kilei_11
@KileiLeiji11
@kileiracer

Ranking 11
Points 10

第2戦、第3戦とFinalでの入賞が続いた中、第4戦Finalではウェットレースの混戦の中を生き残り、激しいバトルも展開しながら自己ベストの5位を獲得。最終戦では表彰台争いに食い込めるか。



金本 きれい
Kilei Kanemoto

MIHARA RACING TEAM

2023年からKYOJO CUPに参戦。昨年はチームとしてもフォーミュラカーでのレースに初挑戦となった。金本きれいを強力にバックアップする。



Car Name
ミハラ自動車エムクラフト KC-MG01

7

mikionaga_114
@Banzai159

Ranking 5
Points 59



翁長　実希
Miki Onaga

スーパーフォーミュラ併催の第4戦Sprintで今季待望の初優勝を飾ったが、そのほかのレースでは思うような戦いができず、苦しいシーズンとなっている。それでも再びの勝利とチャンピオンを目指し、全身全霊で戦う。

nat team KCMG

KYOJO CUP最大勢力の4台体制で挑むKCMG。チャンピオン候補の翁長実希、成長著しい佐々木藍咲に加え外国人ドライバーも擁する国際色豊かなチームだ。



Car Name
nat KDDP KC-MG01

8

佐々木 藍咲
rami_sk7
@Rami__seven

Ranking 9
Points 14



佐々木　藍咲
Rami Sasaki

フォーミュラ2年目の今年は安定してトップ10内での戦いが続いているが、表彰台争いにはあと一歩。前戦は予選でチームメイト翁長に迫るタイムだっただけに、最終戦にも期待が高まる。



Car Name
nat KDDP KC-MG01

9

kelseyraces
@KelseyRaces

Ranking -
Points -



ケルシー　ピンコウスキー
Kelsey Pinkowski

KYOJO CUPへのチャレンジは今年が2年目。レースごとに来日するスタイルの参戦で難しい環境の中、シミュレーターなども使って貪欲にレースに向かっている。シーズン集大成のレースでケルシーらしい笑顔を見せてほしい。



Car Name
VINIA KDDP KC-MG01

10

joanneciconte
@joanneciconte

Ranking 2
Points 70



ジョアンヌ　チコンテ
Joanne Ciconte

KYOJO CUP初年度ながら開幕大会で2位に。第4戦ファイナルで再び2位を獲得したことでランキングでも首位の富下に5ポイント差に迫っている。初優勝を経て外国人ドライバー初のKYOJOチャンピオンに届くか。



Car Name
FLEET KDDP KC-MG01

11

paige_raddatz
paige_raddatz
@paigeraddatz17

Ranking 10
Points 12



ペイジ　ラダッツ
Paige Raddatz

昨年末にトライアウトに参加し、今季KYOJO CUP初参戦。開幕大会は入賞圏外だったが、着実に成長し第2戦、第3戦のFinalでバトルを制し6位フィニッシュを飾った。第4大会含めSprintでの上位入賞が見たい。

富士山静岡レーシング

地元静岡で生まれたレーシングチーム。「静岡×モータースポーツで盛り上がろう！」をキーワードに、今シーズンは2台体制に強化してKYOJO CUPに挑む。



Car Name
富士山静岡レーシング KC-MG01

12

rinaitoofficial
loverina24
@loverina2

Ranking -
Points -



RINA ITO
RINA ITO

これまで様々なモータースポーツカテゴリーに挑戦してきたが、フォーミュラは今シーズンが初めて。経験値を積み重ねてきた今大会はシーズン締めくくりにふさわしいベストレースを見せてくれるだろう。



Car Name
富士山静岡レーシング KC-MG01

17

itsumo17
@always____17

Ranking -
Points -



白石 いつも
Itsumo Shiraishi

KYOJO FORMULA2年目の挑戦は、中団争いから抜け出せず苦戦の前半戦だったが、第2戦Finalで初入賞すると、第4戦Finalでは7位入賞。これを突破口に、最終戦で自己ベスト更新を目指す。

Team ReFa with AIWIN

三浦愛が立ち上げたチーム「AIWIN」と美容ブランド「ReFa」が強力なタッグを組んだ。新規チームながら体制は十分で、第2戦では三浦がSprint優勝を飾っている。



Car Name
Team ReFa Aira KC-MG01

18

@ai.miura.3597
aimiura1124
@ai1124m

Ranking 7
Points 25



三浦 愛
Ai Miura

2020年、23年のKYOJO CUPチャンピオンが自チームからドライバーとして参戦。スーパーフォーミュラ併催の第2戦Sprintで優勝を飾った。チーム監督としても戦う三浦は、最終戦でどんなレースを見せてくれるだろう。



Car Name
Team ReFa KC-MG01

FUKUDA racing

岩岡万梨恵を擁し2024年からKYOJO CUPに参戦。ドライバーとともに日々前進のチームだ。



33

marieiwaokaBoo
maributa05
@maributa05
@marie.iwaoka

Ranking -
Points -



KYOJO CUPの他、スーパー耐久にも参戦。ひたむきに努力を重ねる姿が印象的だ。第4戦Finalでは入賞まであと一歩の11位に。これまでの頑張りが花開く最終戦になることを期待。

岩岡 万梨恵
Marie Iwaoka

INGING 2W Zoomies Singha Sittipol Nexter

3台体制のINGING。その1台はタイ企業をスポンサーに迎え、タイ人女性ドライバーでKYOJO CUPを戦う。



35

minniesitarvee

Ranking -
Points -



KYOJO CUPには2年目の挑戦。激しい雨の中で行われたRd.3 Finalでは高い集中力で戦い抜き、ポジションアップに成功した。常に学び続けた今シーズンを、自己ベスト更新で締めくくりたい。

シタルウィ リムナンタラック
Sitarvee Limnantharak

TEAM OPTIMUS CERUMO・INGING

スーパーフォーミュラ、SUPER GTでお馴染みのセルモは今年もドライバーラインナップ継続。若手の2人がチャンピオン争いを繰り広げる



38

佐藤こころ
kokosato_0304
@kokosato_0304
@kokosato_0304

Ranking 4
Points 64



F1アカデミーのルーキーテストを経験して挑んだ第4戦Finalでは、2番手スタートから逆転して待望の優勝を飾った。この勢いでチームメイトに追いつき、逆転でシリーズチャンピオンに届くか。

佐藤 こころ
Kokoro Sato

39

富下李央菜
tomishitariona
@tomishitariona

Ranking 1
Points 75



開幕大会でフルマークを達成し、一躍シリーズの中心に。ほぼすべてのレースで入賞する安定感でランキングトップに着けている。前週のスーパー耐久でも今季初優勝を飾り、いい流れには乗っているはずだ。

富下 李央菜
Riona Tomishita



SCS TEAM TOM'S

伊藤大輔監督率いるトムスはドライバーラインナップ継続。昨年惜しくも届かなかったチャンピオンを目指す。



36

aimisaito_
@aimis818

Ranking 3
Points 69



第2戦で今季初勝利をおさめ、一時ランキングトップに立ったものの、第4戦Finalではリタイアを喫し初のノーポイントに。ランキングも3位に後退したが、富下との差はわずか6ポイント。逆転タイトルへの期待も十分だ。

斎藤 愛未
Aimi Saito

ATEAM Buzz Racing

若手育成を主軸にモータースポーツの普及活動に力を入れている。今年はSUPER FORMULAにも参戦。



57

zhaoyunqing_emily

Ranking -
Points -



開幕大会を欠場し、第2戦が今シーズンのスタートになった。レースを重ねるごとに見せる成長の姿に、ファンも温かいエールを送っている。自己ベストを目標に、最終大会も邁進する。

ジャオ ユン チェン
Zhao Yun Qing

NEW'Z RACING CLUB

「にゅ」の文字が印象的なスニーカーブランド、SANGACIOが、昨年までKYOJO CUPを戦っていた織戸茉彩を擁してモータースポーツの世界に挑戦！



59

maaya_orido_559
@maaya_orido_559

Ranking -
Points -



レーシングドライバー織戸学のDNAを受け継ぎ、KYOJO CUPにはVITA時代の2022年から昨年まで参戦。約1年ぶりと久々のフォーミュラレースで、どんな走りを見せてくれるだろうか。

織戸 茉彩
Maaya Orido

37

Hanubuu
hanubuu_
@hanubuu

Ranking 11
Points 10



開幕戦Sprintから3レース連続で入賞し、第3戦Finalでもポイントを獲得。並行して参戦しているスーパー耐久でも念願の初勝利を達成した。攻めの姿勢で挑む最終戦は上位入賞に期待。

ハナ バートン
Hana Burton



86

shimonorio
@RioShimono
@shimonorio

Ranking 6
Points 49



昨年のシリーズチャンピオンは思うようなレースができず苦戦の序盤だった。しかし、中盤戦の第3戦Finalで輝きを取り戻し圧巻の今季初優勝。最終戦での逆転タイトルに望みをつないだ。

下野 璃央
Rio Shimono

Dr.Dry with Team IMPUL

Dr.DRY RACINGとTEAM IMPULのタッグで下野璃央とともに2年目のKYOJO CUPを戦う。



87

Ranking -
Points -



愛車のロードスターがきっかけでレースの世界へ。フォーミュラ挑戦2年目の今年もまだ試行錯誤の中というが、その中でも小さな気づきを積み重ねて進歩を見せる。

山本 龍
Ryu Yamamoto

Autolook Racing

ガレージに近い筑波サーキットを主戦場に、もてぎ、富士、鈴鹿など様々なサーキットでレースを戦っている。



KYOJO CUP Machine & Rules

Ranking
Points



KYOJO CUPのレースフォーマットは、土曜日に20分間の予選セッションを行い、10周で争われる**「KYOJO Sprint」**のグリッド順を決定。日曜日に15周で争われる**「KYOJO Final」**は、KYOJO Sprintの着順でグリッドを決定する。KYOJO Finalの優勝者には賞金150万円が贈られ、6位までが賞金を授与。またポイントシステムは土曜日の予選、KYOJO Sprintにも適用される。予選はポールシッターから3位までにそれぞれ3-2-1ポイント。KYOJO Sprintでは優勝者に10ポイント、以下8位までがポイント獲得対象となる。KYOJO Finalは優勝者に20ポイント、以下10位までシリーズポイントが与えられる。

ハイブリッドフォーミュラKC-MG01　諸元表

車両名	KC-MG01	シャシー	カーボンコンポジットモノコック(FIA公認Haloシステム採用)
全長	4,150mm	エンジン	1.4Lターボ(176bhp)
ホイールベース	2,753mm	トランスミッション	6速パドルシフト
全幅	1,506mm	サスペンション	プッシュロッド式4輪ダブルウィッシュボーンサスペンション
全高	980mm	ブレーキ	AP Racing製 2ポッドキャリパー、ブレーキパッド
車両重量	610kg		Brembo製ベンチレーテッドディスク
		オイル	MOTUL
		ホイール	OZ Racing製 フロント：8x13 / リヤ：10x13
		タイヤ	ブリヂストン



ひとつしかないこの地球。

いま世界中で「持続可能な社会」を実現していくための活動がうまれています。

ブリヂストンはこの2022年に"Bridgestone E8 Commitment"を定め、2050年に向けて、
私たちらしい8つの「E」、私たちらしい8つの価値を、私たちらしいやり方で創出していくことで、
持続可能な社会を支えることにコミットしていきます。

Energy カーボンニュートラルなモビリティ社会の実現を支えることにコミットする。

Ecology 持続可能なタイヤとソリューションの普及を通じ、より良い地球環境を将来世代に引き継ぐことにコミットする。

Efficiency モビリティを支え、オペレーションの生産性を最大化することにコミットする。

Extension 人とモノの移動を止めず、さらにその革新を支えていくことにコミットする。

Economy モビリティとオペレーションの経済価値を最大化することにコミットする。

Emotion 心動かすモビリティ体験を支えることにコミットする。

Ease より安心で心地よいモビリティライフを支えることにコミットする。

Empowerment すべての人が自分らしい毎日を歩める社会づくりにコミットする。

Bridgestone E8 Commitment to Our Future

ブリヂストンは、これまで以上に世界の課題と可能性に向き合っていきます。

未来の子供たちからの預かり物であるこの地球のために。みなさまと一緒に。

株式会社ブリヂストン
[お客様相談室] フリーダイヤル0120-39-2936
受付時間：月～金（祝日および指定休日は除く）9：00～17：00
www.bridgestone.co.jp

BRIDGESTONE
Solutions for your journey



KYOJO-VITA
Round 3

Round 2 Review

女性ドライバーだけのVITAレースが1年ぶりに復活。全３戦で争われ、第1戦のウィナーは#31永井歩夢。ポールポジションからのスタートだったが、アップダウンの激しい、まさに激動の展開の末に勝ち取った結果だった。果たして今回はすんなりと勝たせてもらえるか？

予選は雨が降る中で行われ、それも絶えず雨足が変化する、難しい状態となっていた。計測2周目までは#31永井がトップタイムを記していたが、3周目になって#714金本きれいが逆転。その後もアタックを続けるが、2人ともタイムアップならず。「最初のうちは小雨だったんですけど、それからちょっと強くなって、その後やんだんですけど、水が捌けるまでには至らなかったです。自分的には前の周がベストで、ダンロップコーナーでロックアップしちゃったので、そこで本当はもっとタイム出せたかなと。その後、雨降っちゃったので、もったいなかったですね」と#714金本。

決勝も雨の中での戦いとなり、セーフティカー（SC）スタートでの開始となる。ポールシッターの#714金本は、前回の無念を晴らせるか？ SCの先導は3周に及び、最終コーナーからの加速で優ったのは#31永井。計測ラインをコンマ3秒差で駆け抜け、#31永井がトップを奪う。さらにGRコーナーで、#66ロー・インイーにインを刺された#714金本は、直後にラインが膨らみ、#66ローと接触する形で、ともにコースをはみ出してしまう。

これで漁夫の利を得る格好となったのが#610 RINA ITO、ひとつポジションを上げて3番手に。

その間に逃げたかった#31永井だったが、マシンにダメージを負わずに済んだ#714金本が、そうはさせまいと近づいてくる。そして6周目のダンロップコーナーでは#66ローが#610 ITOを抜いて、3番手に返り咲く。その直後のGR GTコーナーでは、5番手を走行していた#32保井舞がスピンを喫していた。

7周目のアドバンコーナーで、#31永井のインを突いた#714金本は、そのまま並んで300Rに飛び込み、アウトから仕留めることに成功！ここでのオーバーテイクは、あまり見られない光景だ。視界が開けた後の#714金本はファステストラップを連発して、#31永井を振り切ったものの、レース終了から間もなく非情な裁定が……。GRコーナーでの#66ローとの接触後のコース復帰に安全性を欠いたとして5秒加算のペナルティが課せられたのだ。それでも2位には踏み留まる。

結果、2連勝となった#31永井は、「正直、セクター 3とか相手の方が速かったので、『ミスしてくれないかな』って願うぐらいだったので、本当にラッキーだったな、とも思いました」と、素直な胸の内を語っていた。

2026 Point Ranking
ポイントランキング

Rank	No.	Name	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Total
KYOJO-VITA						
1	31	永井 歩夢	1+20	20		41
2	4	岡本 悠希	15	6		21
3	66	LOKE YIN YI	8	11		19
4	714	金本 きれい		1+15		16
5	32	保井 舞	11	2		13
5	610	RINA ITO	5	8		13
7	17	箱入娘*Mayu	6	4		10
8	7	おぎねぇ	4	3		7
9	35	清水 愛		5		5
10	118	及川 紗利亜	3			3
10	24	藤島 知子	2	1		3
12	30	前田 琴未	1			1

※シリーズポイントは、1位～10位にそれぞれ20-15-11-8-6-5-4-3-2-1ポイント与えられ、ポールポジションを獲得したドライバーに1ポイント与えられるただし、参加台数によって制限される場合がある。


Winner


2nd


3rd



RESULT リザルト
KYOJO VITA

Rank	No.	Name
1	31	永井 歩夢
2	714	金本 きれい
3	66	LOKE YIN YI
4	610	RINA ITO
5	4	岡本 悠希
6	35	清水 愛-

YouTubeチャンネルは
こちら！ ›››››

PRIZE 大会賞典
KYOJO-VITA

賞	典
優勝	主催者賞
2位	主催者賞
3位	主催者賞

※賞典は競技出走台数により制限されることがあります。

Round 3 Entry List

11月1日(日)　公式予選　8:10～ 8:30
11月1日(日)　決勝レース　10:05～ 10周 or 25分

Car No.	Driver	Car Name	Maintenance Garege	Entrant
KYOJO-VITA				参加台数：15台
4	岡本 悠希	グッドスマイル初音ミクVITA	㈱ビーンズスポーツ	ビーンズスポーツ
7	おぎねぇ	ORCIRC社員募集中ワコーズVITA	プロトワークス	おぎねぇ
24	藤島 知子	OPTIMUS☆BBS☆VITA-01	BBR	Team Phoenix
30	前田 琴未	A-PEX☆TOKAIDENSO☆VITA	A-PEX MOTOR SPORT	A-PEX MOTOR SPORT
31	永井 歩夢	A-PEX☆VITA	A-PEX MOTOR SPORT	A-PEX MOTOR SPORT
32	保井 舞	ミハラ自動車エムクラフトVITA		MIHARA RACING TEAM
35	清水 愛	恒志堂レーシングVITA35号機		Koshido Racing
66	LOKE YIN YI	SKILL DRVN VITA		KEGANI RACING ACADEMY JAPAN
73	SALLY	TRADE TECH VITA	ABBEY RACING	ABBEY RACING
76	うみにゃん	ELEVレーシングドリームOSスハラVITA		ELEV Racing Dream
118	及川 紗利亜	小倉学園VITA		ALBA
211	関 亜由美	ビーンズスポーツ★WWS★SPM★VITA	ビーンズスポーツ	ビーンズスポーツ
214	ゆりちゃんモータース	shinko1 with COR		Circuit Orange Racing
529	KOGA URARA	STILLWAYvielGluCk☆VITA		STILLWAY
610	RINA ITO	恒志堂レーシングVITAロト号		Koshido Racing

マシン：VITA-01　タイヤ:ダンロップのコントロールタイヤ













KYOJO VITA

Car & Driver LINE UP

4

Ranking 2
Point 21

初音ミクのカラーリングが目印のグッドスマイル号。女性ドライバー育成プログラムで発掘された岡本は、KYOJO KARTシリーズでチャンピオンに輝き。2027 KYOJOトライアウトの参加権を獲得した。



岡本 悠希
オカモト　ユウキ



グッドスマイル初音ミクVITA
Maintenance Garege ㈱ビーンズスポーツ
Entrant ビーンズスポーツ

7

Ranking 8
Point 7

女性ドライバーのレジェンド的存在で、レースキャリアは40年に迫る。KYOJO CUPの立ち上げ当初から参戦を続けてきた。開幕戦は7位フィニッシュ。第2戦でも連続入賞を果たした。



おぎねぇ
オギネェ



ORCIRC社員募集中ワコーズVITA
Maintenance Garege プロトワークス
Entrant おぎねぇ

24

Ranking 10
Point 3

モータージャーナリストの顔も持つ、二刀流レーサー。ドライバー視点のレースレポートは必見だ。第2戦は雨中の戦いでやや気弱になった場面も。最終戦は自分自身との戦いも目標の一つだ。



藤島 知子
フジシマ　トモコ



OPTIMUS☆BBS☆VITA-01
Maintenance Garege BBR
Entrant Team Phoenix

30

Ranking 12
Point 1

2018年のN-ONEオーナーズカップで4輪デビュー。開幕戦では入賞できたが、第2戦は11位フィニッシュでポイント獲得にわずかに届かず。最終戦は悔しい思いを晴らすチャンスをものにできるか。



前田 琴未
マエダ　コトミ



A-PEX☆TOKAIDENSO☆VITA
Maintenance Garege A-PEX MOTOR SPORT
Entrant A-PEX MOTOR SPORT

31

Ranking 1
Point 41

KYOJO CUPには2021年から参戦。開幕戦、第2戦と優勝を飾り、現在2位の岡本に20ポイント差をつけてシリーズランキングトップに着けている。チャンピオン最有力候補だ。



永井 歩夢
ナガイ　アユム



A-PEX☆VITA
Maintenance Garege A-PEX MOTOR SPORT
Entrant A-PEX MOTOR SPORT

32

Ranking 5
Point 13

幼少期にカートデビュー。大好きなクルマに携わる自動車整備士の資格も持っている。2023年からKYOJO CUPの一員に。開幕戦では嬉しい3位表彰台を獲得。最終戦でも上位争いを目指す。



保井 舞
ヤスイ　マイ



ミハラ自動車エムクラフトVITA
Maintenance Garege
Entrant MIHARA RACING TEAM

35

Ranking 9
Point 5

マイカー購入からクルマ愛に目覚めた清水は、サーキットレースだけでなくラリーなどにもチャレンジ。第2戦は人生2度目というフルウェットのレースで6位入賞を果たしてみせた。



清水 愛
シミズ　アイ



恒志堂レーシングVITA35号機
Maintenance Garege
Entrant Koshido Racing

66

Ranking 3
Point 21

セパンでの1,000km耐久レースにも参戦経験がある、マレーシア出身の実力者。開幕戦は表彰台まであと一歩の4位だったが、第2戦ではバトルの末に3位表彰台をつかみ取った。



LOKE YIN YI
ローイン イー



SKILL DRVN VITA
Maintenance Garege
Entrant KEGANI RACING ACADEMY JAPAN

211

Ranking -
Point -

スポーツカー好きからモータースポーツにハマり、現在は地元北海道を飛び出し練習に励んでいる。第1戦、第2戦と悔しいレースが続いているだけに、最終戦ではその悔しさを晴らす全開の走りを見せてほしい。



関 亜由美
セキ アユミ



ビーンズスポーツ★WWS★SPM★VITA
Maintenance Garege ビーンズスポーツ
Entrant ビーンズスポーツ

73

Ranking -
Point -

愛車でのサーキット走行がモータースポーツとの出会い。第2戦では練習でクラッシュを喫したが、修復してくれたメカニックの頑張りに応える懸命の走りで11位フィニッシュを果たした。



SALLY
サリー



TRADE TECH VITA
Maintenance Garege ABBEY RACING
Entrant ABBEY RACING

214

Ranking -
Point -

ロードスターを愛車に持ち、レースクイーンやYouTuber、コスプレなど多彩な活動を行っている。ロードスターパーティレースやカートの耐久レースに参戦経験はあるが、KYOJO VITAは初参戦だ。



ゆりちゃんモータース
ユリチャンモータース



shinko1 with COR
Maintenance Garege
Entrant Circuit Orange Racing

76

Ranking -
Point -

2024年のKYOJO CUPスポット参戦がレースデビュー。VITAでのウェット経験皆無の中で挑んだ予選は14位。決勝レースもタフなコンディションの中を走りぬき13位でチェッカーを受けた。



うみにゃん
ウミニャン



ELEVレーシングドリームOSスハラVITA
Maintenance Garege
Entrant ELEV Racing Dream

529

Ranking -
Point -

九州にホームを構えるSTILLWAYから、KYOJO VITAに初参戦。地元オートポリスのVITAレースだけでなく、もてぎでMECにも出場した。富士ではどんな走りを見せてくれるだろうか。



KOGA URARA
コガ ウララ



STILLWAYvielGluCk☆VITA
Maintenance Garege
Entrant STILLWAY

118

Ranking 10
Point 3

歯科医師であり、ミスユニバース準グランプリの経歴を持つレーサー。女性の活躍を広めるためKYOJO CUPやラリーにも参戦、社会活動や啓もう活動にも積極的に取り組んでいる。開幕戦以来の参戦だ。



及川 紗利亜
オイカワ アリサ



小倉学園VITA
Maintenance Garege
Entrant ALBA

610

Ranking 5
Point 13

KYOJO FORMULAとのダブルエントリー。ウェットコンディションの第2戦はLOKE YIN YIとの激しいバトルの末4位フィニッシュ。開幕、第2戦と順位が上がっており、今回は表彰台獲得に期待。



RINA ITO
リナ イトウ



恒志堂レーシングVITAロト号
Maintenance Garege
Entrant Koshido Racing

IDI Motor Sports

TYPE D-0X ゼロクロス Racing

20 TYPES RACING PADS

「レース後半でブレーキの効きが弱まってしまう」
「リアのブレーキが効きすぎてしまう」
「前後のブレーキバランスがおかしい」

そんな問題は”ZERO CROSS”が打ち砕く

レースをする上でありがちな、これらのブレーキへの不満。これによって、妥協を強いられるブレーキングをしてはいないだろうか？
IDIでは、特性を細かに分類し、20種類ものレーシングパッドをラインナップ。
それらのパッドを組み合わせることで、多種多様なニーズをカバーし、理想の「効き」が実現可能となる。
これでもう、妥協の必要は無い。思い描いたブレーキングを”ZERO CROSS”が叶える。



Front :
¥25,000～（税抜）
Rear :
¥25,000～（税抜）

材　質	ノンアスベスト / カーボンメタル / セミメタル / フルメタル
対応フィールド	サーキット

国産純正ブレンボ用：¥2,000（税抜）UP / 社外後付キャリパー用：¥6,000（税抜）UP

スカラシップ “Driver Support System”

アイ・ディ・アイでは、ドライバーサポート制度を実施し、事前に登録頂いた方へ成績に応じてブレーキパッド（一部、オリジナルグッズ）を提供しています。ぜひ、奮ってご参加ください!

詳しい内容はホームページへ! www.idijp.com

100%Synthetic oil
COMP R



ENGINE OIL	GEAR OIL
0W-20 10W-40	75W-90
0W-30 10W-50	80W-140
0W-40 15W-60	85W-250
20W-60	90LSD
	140LSD

4L オープンプライス / 20L オープンプライス

100%Synthetic oil
GRADE R



PA-R	PE-R
5W-20	5W-30
0W-30	5W-50
5W-40	15W-50
10W-40	20W-50
10W-50	10W-60

4L オープンプライス / 20L オープンプライス

Racing composite brake fluid
BF338



ドライ沸点:338℃
ウェット沸点:242℃

0.5L ¥2,400（税抜）

Longlife
Racing coolant



全量交換タイプの
レーシングクーラント

4L ¥6,500（税抜） / 20L ¥30,000（税抜）

Racing composite
Racing battery



■D1217
W181 H167 D76
■D1224
W166 H175 D125

¥35,500～（税抜）

☑BRAKE PADS ☐BRAKE ROTOR ☑BRAKE FLUID ☑MOTOR OIL ☑BATTERY ☑OTHER

www.idijp.com

有限会社 アイ・ディ・アイ
〒196-0004 東京都昭島市緑町2-13-18　tel 042-549-0050

FUJI SPEEDWAY

FCR 2026

Fuji Champion Race Series



富士チャンピオンレースシリーズ 第5戦

2026.10.31 SAT - 11.1 SUN



FCR-86BRZ Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
FUJI 86BRZ CHALLENGE CUP
Round 2

Round 1 Review

トヨタGR86/86とスバルBRZによる、FCR-86BRZと富士86BRZチャレンジカップ（FCC）の混走レースは、2026年も全3戦での開催を予定。なお、FCCはJP-1とJP-4がなくなり、5クラスに改められた。

予選では、プロ・ショップワークスのドライバーを対象とするJP-2Rの#551 徳升広平が、計測2周目にひとり2分を切る好タイムを記録すると、計測を10分残した段階で早々とピットイン。もちろん、その後、タイムは誰にも破られず。総合2番手にはJP-2Sの#110鈴木皐起がつけ、JP-2Rの#18大住拓が続くこととなった。「良かったです、車も上々で。チームとしても初の2分、切ったということで。あとは車が保ってくれることを願います。淡々と頑張ります」と#551徳升。

FCR-86BRZはIクラスの#51田畑勇が、IIクラスの#53竹内浩典を抑えてトップ、それぞれ総合では5、6番手だった。「今回、ATで出ているんですけど、どこまで行けるかなぁ、って。ナンバーつきのチューニングのクラスについていって、後半チャンスがあればなぁ、と思っています。基本、レンタカーなんで、お客さんにいいところを、竹内さんとふたりで見せられれば、と思っています」と#51田畑。

決勝は、いつものようにクラスの壁を超えた戦い。スタートから#551徳升が飛び出し、早々に独走状態に持ち込んで行ったのとは対照的に……。#110鈴木はスタートで#18大住の先行を許すも、3周目のダンロップコーナーで逆転。その後は#551徳升を追いかけるまでには至らなかったものの、単独走行に持ち込んでいく。見応えのあるバトルを繰り広げたのは#18大住と#51田畑。8周目まで続き、ようやく#51田畑が前に出る。

総合優勝を飾ったのは#551徳升。「ちょっと気温が高くて、タイヤ的に苦しい中、全力で走りました。良かったです、勝てて」と語るとおり、総合2位でJP-2S優勝となった#110鈴木に10秒差の圧勝となった。そして、#110鈴木は「自分にとって初めての公式戦で、なかなか予選のタイム出すところ、レースの流れがうまくできていなかったので、そこは反省点だと思います」と、いきなりの好結果にも満足していない様子だった。

総合3位でFCR-86BRZのIクラス優勝は#51田畑。「クラスとしては楽勝だったんですが、やっぱり前の2台は、車も速いし、運転もうまい」と先着したライバルを絶賛。IIクラスでは#53竹内が優勝。「レースペース、良くはなかったんですけど、勝てて良かったです、初優勝です」と語る#13小林暸良がIIIクラスを制覇。

そしてJP-3Sでは「自分のステップアップのためのレースにはなったと思います」と語った#335岡崎遼が、JP-3ESでは「抜きつ抜かれつのバトルをして」いた#72林達彦が、それぞれ初優勝を飾っている。





RESULT リザルト
FCR-86BRZ Ⅰ

Rank	No.	Name
1	51	田畑 勇
2	5	松下 隼士





FCR-86BRZ Ⅲ

Rank	No.	Name
1	13	小林 暸良
2	113	宮川 直樹
3	393	大野 秀昭
4	33	毛利 直人
5	76	天野 公昭





JP-2R

Rank	No.	Name
1	551	徳升 広平
2	18	大住 拓





JP-3ES

Rank	No.	Name
1	72	林 達彦
2	552	藤井 敬士
3	35	橋本 隼
4	564	柴田 明成
5	49	佐藤 政之
6	38	平川 裕司





RESULT リザルト
FCR-86BRZ Ⅱ

Rank	No.	Name
1	53	竹内 浩典
2	750	鍛冶田 昇
3	7	宮崎 恭一



JR-2ES

Rank	No.	Name
1	25	和田 拓巳





JP-2S

Rank	No.	Name
1	110	鈴木 皐起
2	81	Kenichi Melichar
3	28	鈴木 康史
4	37	岩崎 宏志
5	241	鈴木 貴大
6	8	松宮 吉則





JP-3S

Rank	No.	Name
1	335	岡崎 遼
2	43	常盤 岳史

Round 2 Entry List

10月31日(土) 公式予選 8:30～ 8:50
10月31日(土) 決勝レース 11:50～ 10周 or 25分

Class	Car No.	Driver	Car Name	Type	Tire	Maintenance Garege	Entrant
N1	FCR-86BRZ Ⅰ						参加台数:1台
	5	松下 隼士	AVAVTE-ATC-IDCC-ZD8 No5	ZD8	DL		Industrial Development Center Clinic
NE	FCR-86BRZ Ⅱ						参加台数:3台
	7	宮崎 恭一	BRZセブン	ZC6	DL	大御神エンジン	宮崎恭一
	45	新井 誠二	Int-Cproject86	ZN6	DL	TEJ	TRANSIT engineering
ナンバー付き	222	太田 隼斗	AVANTE-ATC-IDCC-ZC6No222	ZC6	DL		Industrial Development Center Clinic
	FCR-86BRZ Ⅲ						参加台数:5台
	13	小林 暸良	エイリアン86	ZN6			小林暸良
	33	毛利 直人	富山米 富富富 アムロGR86	ZN6	YH	RSアムロ	毛利直人
	113	宮川 直樹	86ミヤサン号	ZN6	YH	レアルトレーディング	宮川直樹
	393	大野 秀昭	GLW Racing Extra BRZ	ZC6			大野秀昭
	904	青柳 貴明	PGK小川R BANDOH86	ZN6	YH	P.G.K Racing	P.G.K Racing
ナンバー付き	富士86BRZチャレンジカップ						参加台数:22台
JP-2ES	25	和田拓巳	MKS アイプローズ BRZ	ZC6		㈱アイプローズ	MKSモータースポーツ
JP-2R	18	大住 拓	G-maxエナペタルOS 86	ZN8	BS	RG-O	大住 拓
JP-2R	551	徳升広平	モーターテクニカ BRZ	ZD8	BS	モーターテクニカ	モーターテクニカ
JP-2S	8	松宮吉則	IDI・RG-O・洗匠GR86	ZN8	BS	レーシングガレージ大住	松宮吉則
JP-2S	28	鈴木康史	キンレイ86シム	ZN8	BS	㈱バッファロー	鈴木康史
JP-2S	37	岩崎宏志	ワンスマ×HCRACING GR86	ZN8	BS	HC GALLERY 山北FACTORY	HC RACING
JP-2S	81	メリカー賢一	BonsaiRacing GR86	ZN8	YH	BonsaiRacing	メリカー賢一
JP-2S	110	鈴木皐起	モンスター静岡磐田 BRZ	ZD8	BS	モンスター静岡磐田	鈴木皐起
JP-2S	241	鈴木貴大	ロータスクラブGR86協同	ZN8	BS	ロータス協同	鈴木貴大
JP-3ES	35	辻野笑太	HC・RACING86AT 1	ZN6	BS	HC GALLERY 山北FACTORY	HC RACING
JP-3ES	38	平川裕司	HC・RACING86AT 3	ZN6	BS	HC GALLERY 山北FACTORY	HC RACING
JP-3ES	39	川瀬明洋	HC・GALAHRACING 86 1	ZN6	BS	HC GALLERY 山北FACTORY	HC RACING
JP-3ES	72	林 達彦	アバンテ・atc砂子塾86	ZN6	BS	アバンテオートサービス	アバンテオートサービス
JP-3ES	76	江越 巧	HC・RACING86AT 2	ZN6	BS	HC GALLERY 山北FACTORY	HC RACING
JP-3ES	552	藤井敬士	モーターテクニカ 86	ZN6	BS	モーターテクニカ	モーターテクニカ
JP-3ES	564	柴田明成	オカザえもんRT86山本タイヤ	ZN6	YH	GR Garage豊田土橋	柴田明成
JP-3ES	616	伊東康宏	Sky Moty's DXL86	ZN6	BS	GR Garage 浦和美園	伊東康宏
JP-3ES	680	藤田 薫	ワンスマ×HCRACING 86	ZN6	BS	HC GALLERY 山北FACTORY	HC RACING
JP-3ES	935	畠山龍平	HC・GALAHRACING 86 2	ZN6	BS	HC GALLERY 山北FACTORY	HC RACING
JP-3S	183	古田 聡	C2機関 自動車部 183-GR86	ZN8	DL	PROMOTION RACING	C2 Motor Sports
JP-3S	184	SAITO KYOU	C2機関 自動車部 184-GR86	ZN8	DL	PROMOTION RACING	C2 Motor Sports
JP-3S	335	岡崎 遼	HALoIOBC BRZ	ZD8	DL		ROBOT RACING

タイヤ=BS=ブリヂストン DL=ダンロップ YH=ヨコハマ

·86/BRZによる混走の新シリーズ！

N1 FCR-86BRZ Ⅰ
GR86/BRZ(ZN8/ZD8)によるレース。
ダンロップ製スリックタイヤのワンメイク。

NE FCR-86BRZ Ⅱ
86/BRZ(ZN6/ZC6)によるレース。車両仕様はほぼN1規定だが、コーナリング性能向上のため装着するリップスポイラーとカナードがN1規定を超えるサイズのためNE車両となる。

ナンバー付き FCR-86BRZ Ⅲ
ワンメイクレースTGR 86/BRZ Race車両(ZN6/ZC6)によるレース。

ナンバー付き FUJI 86BRZ CHALLENGE CUP
ナンバー付きチューニングカーによるレース。改造範囲によってJP1 ～ JP4にクラス分けされる。

PRIZE 大会賞典

FCR-86BRZ Ⅰ/Ⅱ

賞典		
優勝	主催者賞	賞金 50,000円
2位	主催者賞	賞金 30,000円
3位	主催者賞	賞金 20,000円
4~6位	主催者賞	賞金 10,000円

※賞典は競技出走台数により制限されることがあります。

FCR-86BRZ Ⅲ

賞典	
優勝~6位	主催者賞
NUTEC賞	
優勝	賞金 10,000円

Point Ranking
ポイントランキング

FCR-86/BRZ Ⅰ 3/27 10/31 11/29

Rank	No.	Name	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Total
1	51	田畑 勇	20			20

FCR-86/BRZ Ⅱ 3/27 10/31 11/29

Rank	No.	Name	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Total
1	53	竹内 浩典	20			20

FCR-86/BRZ Ⅲ 3/27 10/31 11/29

Rank	No.	Name	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Total
1	13	小林 暸良	20			20
2	113	宮川 直樹	15			15

※シリーズポイントは、1位～10位にそれぞれ20-15-12-10-8-6-4-3-2-1ポイント与えられる。ただし、参加台数によって制限される場合がある。

レコードタイム

FCR-86/BRZ Ⅰ
竹内 浩典 1'58.309 2023/04/02

FCR-86/BRZ Ⅱ
山内 正義 1'59.372 2021/04/10

FCR-86/BRZ Ⅲ
角谷 昌紀 2'04.983 2024/12/21

Fuji 86BRZ Challenge Cup JP-1
たしろ じゅん 2'01.861 2013/09/22

Fuji 86BRZ Challenge Cup JP-2R
小野田 貴敏 1'58.879 2021/04/10

Fuji 86BRZ Challenge Cup JP-2S
中澤 卓也 1'59.036 2023/10/07

Fuji 86BRZ Challenge Cup JP-3S
綾野 興 2'02.345 2018/11/18

Fuji 86BRZ Challenge Cup JP-3ES
藤井 敬士 2'17.500 2025/05/10

Fuji 86BRZ Challenge Cup JP-3R
たしろ じゅん 2'03.018 2015/10/31

Fuji 86BRZ Challenge Cup JP-4S
五賀 貴男 2'06.442 2021/04/10

YouTubeチャンネルは
こちら！ 〉〉〉〉〉

FOR TOYOTA 86 & SUBARU BRZ

DBA/4BA/3BA 対応



すべての保安基準適合品マフラーに対応！

実用新案登録済

パワークラフトのエキゾーストマニホールド&メタル触媒 KIT は、エンジンベンチを積み重ね開発しました。
限りなく等長に近いパイプレイアウトと、こだわりのパイプ集合を採用した結果、低中速トルク、及び高回転域のレスポンスが飛躍的に向上。
純正フレキシブルパイプに変わるスプリングジョイントを使用する事で更なる耐久性を実現しました。

保安基準適合

- エキゾーストマニホールド&メタル触媒セット
- MATERIAL：SUS＃442～304
- SPEC：4-2-1　42.7Φ→50.8Φ→54Φ
- SPEC：54Φ→60Φ
- PRICE：¥225,000　（税込¥247,500）

- サポートパイプ
- MATERIAL：SUS＃442～304
- SPEC：60Φ
- PRICE：¥34,000　（税込¥37,400）



Power Craft JAPAN ®
HYBRID EXHAUST SYSTEM

〒412-0026　静岡県御殿場市東田中 1301-1
0120-809-099　FAX 0550-70-9900
http://www.power-craft.jp

DUNLOP

世界よ、
驚け。

あらゆる路面にシンクロする
SYNCHRO WEATHER
ACTIVE TREAD



FCR-VITA
Round 3

FCR-VITA
3種類の顔を持つカウルがレースを盛り上げる。

ウエストレーシングカーズ社製のNEW SUPER SPORTS CAR「VITA-01」を使用したレース。より多くの人にレーシングカーを楽しんでもらうことを主旨としたレースで、認定された車両の基本デザインの変更は出来ない。

エンジンはトヨタVitz RS(NCP13)に搭載されていたエンジン型式1NZを使用し、最大排気量は1,500ccまで。また、ギアボックスもトヨタVitz RS(NCP13)に搭載されていた標準のギアボックスを使用し、ギアボックスの改造・変更は認められない。

Round 2 Review

今年は2時間耐久のMEC 120を含めず、全４戦で争われるFCR-VITA。開幕戦で圧倒的な速さを見せた#8川福健太は、今年出たVITA7レースをすべて制しており、4連勝のもてぎ・菅生シリーズに至っては早々にチャンピオンを決めている。そんな#8川福を、誰が止めるのか注目された。

予選を前に、前日からの雨こそやんでいたが、路面はウェットのまま。後半のコンディション向上は明らかで、先頭でピットを離れた#8川福は、トップのまま周回を重ねるごとタイムを縮めていく。しかし、最後の最後に引っかかって、タイムアップならぬ不運が。そのタイミングで自己ベストを、ほぼ1秒詰めてきた#77堀隼斗がトップに浮上。#8川福は#714金本きれいにも抜かれ、3番手に甘んじてしまう。

FCR-VITA２戦目の#77堀がポールポジションを獲得。「路面は乾いてはいないですけど、薄い雨ぐらいで。朝、ホテルで窓を開けて天気を見た時に、予想していたぐらいの雨でしたから自信を持って走れました！」と語る21歳の新鋭は、果たして決勝でもトップを保てるか？

路面はほぼドライとなった決勝で#77堀は好スタートを決めるも、逃してくれなかったのが#8川福と予選4番手の#333上田裕司だ。一方、#714金本はシフトミスで出遅れたことが災いし、後続に飲み込まれてしまったばかりか、アドバンコーナーで追突されてスピン。さらに順位を落とす。

1周目を終えたばかりのストレートで、#77堀と#8川福、#333上田はスリーワイドとなり、GRコーナーには中央から#333上田が先頭で飛び込んでいく。その時、わずかに膨らんでしまった#77堀は、#12大野俊哉にもかわされていた。さらに4周目には#77堀は、#610佐藤元春にも抜かれてしまう。

3周目にトップに立った#8川福、#333上田、#12大野による三つ巴の争いは、その後も続いて6周目には#333上田がトップに再浮上。そして9周目のGRコーナー。しっかりインを固めていた#333上田ながら、クロスをかけてコカ・コーラコーナーで並んだ#8川福は、100Rで前に出る。続くアドバンコーナーでインを刺そうとした#333上田だったが、抜ききれず。その直後に痛恨のスピン！ 復帰は果たすも、大きく順位を落とす。

これにより、#8川福が単独走行となり、2番手に浮上した#12大野には#610佐藤が急接近。しかし、アドバンコーナーでのミスが響き、前に出るまでには至らず。逆に最後の最後に#12大野が#8川福に迫ったが、コンマ5秒差で逃げ切られてしまう。「見ている人には楽しんでもらって、僕も楽しみながら走っていました」と語る#8川福は開幕2連勝。#12大野、#610佐藤とともに表彰台の上で笑顔を見せた。#77堀は4位。ジェントルマンクラスでは、総合5位の#181樋尻勝利が2連勝を飾っている。
















FCR-VITA

Rank	No.	Name
1	8	川福 健太
2	12	大野 俊哉
3	610	佐藤 元春
4	77	堀 隼登
5	181	樋尻 勝利
6	88	MAKOTO

FCR-VITA Gentleman

Rank	No.	Name
1	181	樋尻 勝利
2	88	MAKOTO
3	61	木村 一廊
4	81	イシカワ ヨシオ
5	24	Mr.ニシヤマ
6	94	山口 浩昭

Round 3 Entry List

10月31日(土)　公式予選　8:00～ 8:20
10月31日(土)　決勝レース　10:40～ 10周 or 25分

Car No.	Driver	Car Name	Maintenance Garege	Entrant
FCR-VITA				参加台数:26台
4	岡本　悠希	グッドスマイル初音ミクVITA	㈱ビーンズスポーツ	ビーンズスポーツ
7	松下　彰臣	野口商會Abel HOSHO&PARM		Circuit Orange Racing
8	川福　健太	東京IRC従業員募集中vivoVITA	阿久津製作所	Team IRC
12	大野　俊哉	ビーンズスポーツSPM☆VITA	(株)ビーンズスポーツ	ビーンズスポーツ
20	河田　寛太	HC静岡SATSMSCVITA		SATS MSC
21	髙月　瑠偉	JOBU　VITA-01	株式会社ワイルドキャット	ワイルドキャットコンペティション
25	赤堀　康裕	峡南高等技術専門校VITA		赤堀　康裕
30	窪田　俊浩	A-PEX☆TOKAIDENSO☆VITA	A-PEX MOTOR SPORT	A-PEX MOTOR SPORT
32	保井　舞	ミハラ自動車エムクラフトVITA		MIHARA RACING TEAM
35	織田　祥平	恒志堂レーシングVITA35号機		Koshido Racing
39	藤原　晃輝	ACE LINES VITA		藤原晃輝
44	山口　心愛	大和設備工業 PJ VITA		Lv.44
47	小林　史卓	REAL×砂子塾×TVC_VITA		TVC team PLUSONE
76	渡邉　顕	ELEVレーシングドリームOS-VITA		ELEV Racing Dream
77	堀　隼登	テスラレンタカー KRAJ VITA		KEGANI RACING ACADEMY JAPAN
83	Marvin　Lai	Circuit Orange Racing		Circuit Orange Racing
96	山田　恭央	NSレーシングGNR VITA	NSレーシング	山田　恭央
117	惠木　勇哉	大場パワー ShMCVITA		ShMC
118	及川　紗利亜	小倉学園VITA		ALBA
183	柿沼一峰	G/P恵比寿制動屋nutecvita	ガレージプラチナ	柿沼一峰
204	片山　枝穏	Katayama VITA		片山枝穏
213	Kyle　Wynne	Circuit Orange Racing		Circuit Orange Racing
333	上田　裕司	TMR萬雲塾VITA01	㈱TMR	TMR
377	堀　舜之	アバンテ☆atc-VITA	アバンテオートサービス	ｱﾊﾞﾝﾃｵｰﾄｻｰﾋﾞｽ
610	佐藤　元春	恒志堂レーシングVITAロト号		Koshido Racing
714	金本　きれい	FinalLapRacing		ワイルドキャット
Gentleman Class				参加台数:12台
11	高橋　裕史	リーガルトップVITA		高橋裕史
16	斎藤　浩徳	GRAND HORSE VITA		KIMInternational
24	Mr.ニシヤマ	Kids com team HELM VITA SN03		HELM MOTORSPORTS
61	木村　一廊	KOO'ON with ABBEY	ABBEY Racing	木村 一廊
78	TAKEchan	恵比寿moty.s★Vita		TAKEchan
81	イシカワ　ヨシオ	仮病じゃ無い抗がん剤治療中VITA	阿久津製作所	TEAM　IRC
88	MAKOTO	まこと君グラホ号 テックワールド		MAKOTO
94	山口　浩昭	RSかなやエンドレスVITA	RS金谷	RS金谷
97	花村　正	RSかなや木村輪店EDVITA	RS金谷	RS金谷
105	吉村　雅一	ヨシムラオート VITA	ヨシムラオート	吉村　雅一
181	樋尻　勝利	ABBEY RACING★BON和歌山	アビーレーシング	樋尻勝利
525	James　Chen	Circuit Orange Racing		Circuit Orange Racing

マシン：VITA-01　タイヤ:ダンロップのコントロールタイヤ

レコードタイム				
	FCR-VITA	徳升　広平	1'57.617	2024/12/21
	FCR-VITA G	鳥羽　豊	1'58.409	2025/03/15

Point Ranking
ポイントランキング

Rank	No.	Name	5/9 Rd.1	9/5 Rd.2	10/3111/29 Rd.3	Rd.4	Total
1	8	川福 健太	20	20			40
2	12	大野 俊哉	15	15			30
3	181	樋尻 勝利	12	8			20
4	88	MAKOTO	6	6			12
4	610	佐藤 元春		12			12
6	333	上田 裕司	10				10
6	77	堀 隼登		10			10
8	35	大宮 賢人	8				8
9	96	山田 恭央	4	1			5
9	36	河田 寛太	1	4			5
Gentleman							
1	181	樋尻 勝利	20	20			40
2	88	MAKOTO	15	15			30
3	61	木村 一廊	12	12			24
4	81	イシカワ ヨシオ	10	10			20
5	24	Mr.ニシヤマ	8	8			16
6	94	山口 浩昭	6	6			12
7	16	斉藤 浩徳	4	3			7
8	97	花村 正		4			4

PRIZE 大会賞典
FCR-VITA

賞　典		
優勝	主催者賞	賞金 50,000円
2位	主催者賞	賞金 30,000円
3位	主催者賞	賞金 20,000円
4~6位	主催者賞	賞金 10,000円

FCR-VITA
ジェントルマンクラス

賞　典	
優勝	主催者賞
2位	主催者賞
3位	主催者賞

※賞典は競技出走台数により制限されることがあります。

※シリーズポイントは、1位～10位にそれぞれ20-15-12-10-8-6-4-3-2-1ポイント与えられる。ただし、参加台数によって制限される場合がある。

NUTEC賞		
優勝	賞金	10,000円

DUNLOP賞		
優勝	DIREZZA V01 4本	副賞
2~6位	-	副賞

VITA クラブ賞		
優勝	賞金	30,000円
ポールポジション賞	賞金	20,000円

YouTubeチャンネルは
こちら！ ›››››



タイムテーブル

公式予選	10月31日（土）15:15 ～15:35
決勝レース	11月1日（日） 15:55 ～ 8周

グリッドハンディがレースを面白くする!?
AIMレジェンド・クラブ・カップ 2026

AIM Legend's Club Cup 2026

「AIM レジェンド・クラブ・カップ」は、一般社団法人レジェンドレーシングドライバーズクラブ（LRDC）会員有志によるエキジビションレースだ。2018年に第一回が開催され今年で九回目を迎える（2020年はコロナ禍で中止）。

LRDCは日本の自動車産業を支え、国内外で輝かしい結果を残してきたドライバーによる親睦団体で、主な活動として会員による高齢者運転講習会の講師や体験談の講演など、自分たちの経験を後世に広く伝えている。会員の多くは国内のみならず、ヨーロッパやアメリカでF1GPやインディ500、ルマン24時間をはじめとする耐久レースなどに出場し、引退後にはチーム監督などで後進の育成を図っている。

ドライバーの現役時代は、それぞれ性能の異なるワークスレーシングカーで速さを競っていたが、このAIMレジェンド・クラブ・カップでは、WEST VITA-01+ダンロップ・ディレッツアタイヤのワンメイクレースで争われる。VITA-01に 搭載されるエンジンは、約110馬力の1.5ℓDOHCトヨタ・ヴィッツRSのエンジンだ。レース時の車重も約600kgと軽量で、ウエイトパワーレシオ5.4。これはGR86と同等であり、その高性能ぶりが分かるだろう。

そのマシンで富士スピードウェイを一周2分強で走行する参加ドライバーの平均年齢は75.8歳!（2026年実績）。ちなみに昨年の優勝者見崎清志は79歳だ。参加ドライバーの多くが75歳以上の後期高齢者だが、多賀弘明は1963年第一回日本GPに出場し今年は92歳、毎年レースに出場し最高齢記録を更新している。昨年新加入の横山剣は今年も参戦、今年はどんな走りでレースを盛り上げてくれるだろうか。

今年のレースには3名の「新人」が名前を連ねた。ひとりは遠藤栄行。現在は恵比寿の「にんにくや」の代表として知られるが、かつてはマカオGPや富士GCに参戦していた。続いて松田秀士。国内外のレースに参戦し、全日本GT選手権／SUPER GTでは100戦以上に出場し、グレーデッドドライバーに名を連ねている。そして桂伸一は幼少期よりスロットカー、ラジコンを得意とし自動車雑誌の仕事をしながらプロドライバーの道へ進み、92-93年N1耐久を連覇している実力者だ。

今年は特別規則が厳格化され、過去3年間の上位入賞者にはグリッドにハンディがつけられる。福山は最後尾6つ前、中谷は最後尾5つ前、見崎は最後尾からのスタートとなる。実は2022年のウイナーの片山は23年に最後尾スタートながら追い上げ3位に食い込んだ！ 今回もレース巧者の面々だけに、上位に食い込んでくるだろう。その駆け引きに注目したい。

特別規則

前年度を含み、3年前までさかのぼり、上位3位までの入賞者は、予選タイムに関わらず、スターティンググリッドの後方に位置する。

・前年度: 優勝者最後尾、2位最後尾1つ前、3位最後尾2つ前
・前々年度: 優勝者最後尾3つ前、2位最後尾4つ前、3位最後尾5つ
・前々前年度: 優勝者最後尾6つ前、2位最後尾7つ前、3位最後尾8つ

過去3年の上位入賞者

	2023	2024	2025
1位	福山 英朗	黒澤 琢弥	見崎 清志
2位	鈴木 利男	古谷 直広	古谷 直広
3位	片山 右京	中谷 明彦	関谷 正徳

AIM Legend's Club Cup 2026 Entry List

Legend Racing Drivers Club

全18台 決勝11月1日15時55分～8周
初 初出場 ◎10月31日時点 平均年齢:75.8歳
マシンはウエストVITA-01、エンジンはトヨタ・ヴィッツRS1500、タイヤはダンロップDIREZZA DZV01のワンメイク

No.	ドライバー		生年月日（満年齢）		車 名	チーム
7	萩原 なお子	オギワラ ナオコ	1964年8月9日	62歳	ORCIRC社員募集中ワコーズ VITA	プロトワークス
10	金子 健一	カネコ ケンイチ	1948年11月21日	77歳	ビーンズスポーツ☆SPM☆VITA	ビーンズスポーツ
11	佐々木 秀六	ササキ シュウロク	1947年3月14日	79歳	リーガルトップ VITA	ガレージプラチナ
19	多賀 弘明	タガ ヒロアキ	1934年3月21日	92歳	NSレーシング GNR VITA	カーポートスマイズ
20	柳田 春人	ヤナギダ ハルヒト	1950年10月21日	76歳	VITA CLUB VITA-02	VITA CLUB
24	見崎 清志	ミサキ キヨシ	1946年1月13日	80歳	OPTIMUS☆BBS☆VITA-01	Team Phoenix
32	岡本 安弘	オカモト ヤスヒロ	1942年8月6日	84歳	ミハラ自動車エムクラフト VITA	ミハラレーシング
35	片桐 昌夫	カタギリ マサオ	1939年3月1日	87歳	恒志堂レーシング35号機 VITA	恒志堂
47	寺田 陽次郎	テラダ ヨウジロウ	1947年3月26日	79歳	TVC+砂子塾 VITA	プラスワン
61	福山 英朗	フクヤマ ヒデオ	1955年8月13日	71歳	Kidscom Team HELM VITA	アオイ
76	横山 剣	ヨコヤマ ケン	1960年7月6日	66歳	ELEVレーシングOSスハラ VITA	ELEV Racing dream
初 78	松田 秀士	マツダ ヒデシ	1954年12月22日	71歳	Moty's恵比寿 VITA 制動屋	AUTO BARN SPORT恵比寿
83	中谷 明彦	ナカヤ アキヒコ	1957年11月3日	68歳	ガレージプラチナ VITA	ガレージプラチナ
105	桑島 正美	クワシマ マサミ	1950年9月14日	76歳	Moty's吉村A VITA 制動屋	AUTO BARN SPORT恵比寿
117	鮒子田 寛	フシダ ヒロシ	1946年3月10日	80歳	大場パワーShMC VITA	ShMC
初 211	桂 伸一	カツラ シンイチ	1959年1月5日	67歳	ビーンズスポーツ☆SPM☆VITA	ビーンズスポーツ
初 610	遠藤 栄行	エンドウ エイユキ	1947年2月18日	79歳	恒志堂レーシング 610号機VITA	恒志堂
714	篠田 康雄	シノダ ヤスオ	1955年3月24日	71歳	Final Lap Racingワイルドキャット VITA	Final Lap Body Coating Studio

AIMレジェンドクラブカップ2025リザルト ●走行距離：4.563km×８周=36.504km ●天候：晴れ ●路面ドライ

順位	No	ドライバー名	マシン名	周回数	タイム	ベストタイム／ラップ	グリッド
1	24	見崎 清志	OPTIMAS_BBS_MOMO	8	16:39.368	2:04.510／5周目	1
2	118	古谷 直広	IDMS Racing DRP VITA	8	16:49.939	2:02.697／5周目	2
3	47	関谷正徳	TVC+砂子塾 VITA	8	16:51.338	2:05.832／4周目	6
4	83	中谷 明彦	ガレージプラチナ VITA	8	16:52.185	2:04.312／8周目	3
5	11	佐々木 秀六	リーガルトップ VITA	8	16:54.588	2:05.660／4周目	5
6	7	おぎねえ	ORCワコーズ VITA	8	16:54.861	2:05.067／5周目	4
7	341	長坂 尚樹	パッシングマーク VITA	8	17:21.702	2:08.795／2周目	8
8	32	岡本 安弘	中央電材エムクラフト VITA	8	17:23.295	2:09.235／2周目	7
9	111	金子 健一	ビーンズスポーツ_SPM_VITA	8	17:39.339	2:10.130／3周目	9
10	15	長谷見 昌弘	恒志堂レーシングマイダ工務店 VITA	8	17:39.469	2:10.390／7周目	11
11	77	寺田 陽次郎	パッシングマーク VITA	8	17:45.160	2:10.605／3周目	10
12	717	藤井 修二	野口商會 with PMR VITA	8	18:08.032	2:14.060／2周目	12
13	714	篠田 康雄	Final Lap Racingワイルドキャット VITA	8	18:10.759	2:13.466／2周目	13
14	76	多賀 弘明	ELEVレーシングOSスハラ VITA	7	16:57.996	2:22.371／7周目	14
15	13	横山 剣	ORCサウンドキッツ VITA	7	17:20.182	2:22.500／7周目	16
16	35	片桐 昌夫	恒志堂レーシングそら VITA	3	9:52.949	3:02.018／2周目	15

Legend Club Cup 歴代ウイナー

年	回	ウイナー
2018	第一回	中谷 明彦
2019	第二回	見崎 清志
2020	第三回	コロナで開催中止
2021	第四回	片山 右京
2022	第五回	片山 右京
2023	第六回	福山 英朗
2024	第七回	黒沢 琢弥
2025	第八回	見崎 清志

AIM

モノづくりの各分野における「技術力」を通じたエンジニアリングサービス

エイムは、豊かで安全な社会の実現に貢献する技術者集団として、自動車分野における幅広い技術と実績を有するエンジニアリングカンパニーです。自動車メーカーや部品メーカーをはじめ、日本の自動車産業のモノづくりを支援するとともに、次世代自動車やEV関連技術の開発・実証実験にも積極的に取り組んでおります。スポーツEVプロトタイプ「AIM EV SPORT 01」に続き、島嶼部での生活向上を目指した超小型モビリティ「AIM EVM」を開発し、2025年から販売を開始しております。

超小型モビリティ「AIM EVM」2025年に販売開始



DUNLOP

独自のゴム技術を駆使して「DUNLOP」、「FALKEN」をメインブランドとする乗用車用をはじめ、トラック・バス用、モーターサイクル用などの各種タイヤの製造・販売を行なうタイヤ事業を中心にスポーツ事業、産業品他事業をグローバルに展開しています。

World Heritage Foundation

公益財団法人ワールドヘリテージ財団は、モータースポーツやゴルフなどの歴史・文化を尊重し、貴重な遺産を次世代へ継承するとともに、魅力を広く発信しています。新たな文化・観光拠点の整備を通じて地域の活性化に取り組み、人と地域、文化を未来へつなぐ持続可能な社会の実現に貢献します。

PONOS

【求められるモノは創らない、それ以上を創り出す】を掲げ、エンターテインメントという文化の発展に貢献してまいりました。現在は、スマートデバイス向けのオリジナルゲーム開発を核に事業を展開し、代表タイトル『にゃんこ大戦争』は、多くのお客様に楽しんでいただいております。

AIM Legend's Club Cup 2026 Entry List

マシンの写真はドライバーが過去に出場したもの

タイムテーブル

公式予選　10月31日（土）15:15 ～15:35

決勝レース　11月1日（日）　15:55 ～ 8周

Legend Racing Drivers Club

7



萩原 なお子　オギワラ ナオコ　東京都出身

1987年にマーチでレースデビュー。1991年からフォーミュラトヨタに参戦を開始しPPや表彰台を獲得。2000年代に入ると鈴鹿1000kmや全日本耐久に出場。いったんレース活動を休止するも2013年にレース再開、2017年から KYOJO CUP にフル参戦した。普段はフリーアナウンサー、野菜ソムリエとして活動。



10



金子 健一　カネコ ケンイチ　千葉県出身

1973年に軽自動車のエンジンを搭載したミニフォーミュラ、FL-Bでレースデビュー。活動は筑波を中心としたFL550や、スバルの1.8ℓターボを搭載したスポーツカーRJ1800では表彰台の常連だった。全日本耐久レースにもスポット参戦。84年にはマカオGPギアレースにマツダRX-7で出場した。



11



佐々木 秀六　ササキ シュウロク　広島県出身

1969年にトヨタS800でレースデビュー。その後RSCに入社。シビックやFL500、FJ1300を経て80年には全日本F3チャンピオン。翌81年には英F3に参戦し最高位3位。グループC耐久、グループA、N1耐久、JGTCに参戦する。執念深いレース運びから「マムシの秀六」のふたつ名も。



19



多賀 弘明　タガ ヒロアキ　東京都出身

1963年日本GP C-Ⅵクラスにトヨペットクラウンで出場し優勝。以後トヨタのドライバーとして66年までレースに出場。トヨタモータースポーツクラブ（TMSC）の2代目会長として富士24時間、富士1000kmなどTMSC主催のレース運営を行なう。JAFスポーツ委員を歴任しJAF名誉委員の称号を授与された。



20



柳田 春人　ヤナギダ ハルヒト　埼玉県出身

1969年にフェアレディ2000でレースデビュー。72年の富士GCではフェアレディ240Zで2度の総合優勝を挙げ「Zの柳田」と呼ばれた。スーパーシルエットレースでは2度の戴冠。ツーリングカーレースや耐久レースでも活躍した。1975年にフェアレディ専門のチューニングショップ「セントラル20」を創業。



24



見崎 清志　ミサキ キヨシ　東京都出身

1965年にレースデビュー、67年にはチームトヨタに抜擢。73年富士1000㎞ にセリカLBターボで高橋晴邦と総合優勝。富士GCだけではなく、全日本ツーリングカー、GT選手権に出場。91年にはルマン24時間でC1クラス優勝している。現在もWEST VITA-01でレース活動を行ない、AIM LCCでは2勝を挙げている。



32



岡本 安弘　オカモト ヤスヒロ　東京都出身

1966年マツダキャロルでレースデビュー。70年にはマツダオート東京からレースに出場し72年にはサバンナRX-3で富士スーパーツーリングチャンピオン。73年より富士GCにシグマGC73ロータリーで参戦。74年にはシグマMC74でルマン24時間にも出場した。86年にはサードからJTC、耐久レースに参戦。



35



片桐 昌夫　カタギリ マサオ　東京都出身

1965年船橋でレースデビュー。主にツーリングカー、ストックカーレースに参戦。67年富士12時間（ホンダS800）、71年富士TTレース（サニークーペ）ではクラス優勝。68年日本GPのスピードカップにはブラバムBT16でフォーミュラにも進出。この年のマカオGPにも出場し総合5位、クラス優勝している。



47



寺田 陽次郎　テラダ ヨウジロウ　兵庫県出身

1965年にホンダS600でレースデビュー。マツダオート東京入社後マツダ車でのレースに専念。ルマン24時間には1974年の初出場から29回の出走となった。また、ルマンの主催者であるACOの理事であり、2023年には日仏の友好の功績からフランス政府より「シュバリエ」の勲章を授与された。



61



福山 英朗　フクヤマ ヒデオ　三重県出身

1977年FL500でレースデビュー。82年にF3、90年にF3000に参戦。92年にはJTCクラス1で、96年にはスーパーN1耐久、97年、2000年にはJGTCでタイトルを獲得。海外レースでは90年のスパ24時間2位、2000年ルマン24時間GTクラスで優勝。レース番組でのレース解説に定評がある。



76



横山 剣　ヨコヤマ ケン　神奈川県出身

クレイジーケインバンド（CKB）のボーカルとしても知られる横山は、幼少期からのクルマ好き。小学生から富士グランチャンの観戦に来ていたというマニアぶりだ。2016年から音楽活動と並行して筑波で開催されるJCCAのヒストリックカーレースに出場している。



78

初



松田 秀士　マツダ ヒデシ　高知県出身

1982年にシビックレースで4輪レースデビュー。F3、F2を経て87年にF3000、94年以降JGTC／スーパーGTに出場している。96年にインディ500に出場し8位に。ルマン、スパ、デイトナ、ニュルブルクリンクの24時間レースに出場経験がある。自動車評論家／レース解説者／浄土真宗本願寺派僧侶でもある。



AIM Legend's Club Cup 2026 Entry List

マシンの写真はドライバーが過去に出場したもの

83



中谷 明彦　ナカヤ アキヒコ　東京都出身

カートから1980年にFL-Bでレースデビューし81年にはFJ1600。88年には全日本F3チャンピオン獲得。その後はF3000、耐久、JGTC、JTCでは93年Div2クラスで戴冠、N1&スーパー耐久で活躍しクラス2で3度の戴冠。理論的な自動車運転理論を教える「中谷塾」を運営している。



105



桑島 正美　クワシマ マサミ　埼玉県出身

1969年ブルーバードでレースデビュー。70年にフェアレディZ432、71年に240Zに。この頃マシンを黒と赤いストライプに塗り、その後の英F3、F2、富士GCマシンにも引き継いだことから「黒い稲妻」とも呼ばれた。70年末には柳田春人とともにブラジルにレース遠征をした経験もある。



117



レジェンドクラブカップ実行委員長

鮒子田 寛　フシダ ヒロシ　京都府出身

1966年にチームトヨタへ抜擢され国内で活躍。1970年に渡米しレース活動を行なう。72年の富士GCチャンピオン。73年にはルマン24時間にも出場。75年にはマキF1でF1に挑戦。ドライバー引退後は耐久レースのチーム監督を行なう。現在はGCリターンズの主催者としても尽力している。





Legend Racing Drivers Club

一般社団法人 レジェンド レーシングドライバーズ クラブ

レジェンドレーシングドライバーズクラブとは、日本のモータースポーツも60周年の歴史を重ね、レースを通じて自動車性能や安全性の向上などに貢献してきたレーシングドライバーが、その功績を後世に向けて発信するべく、2013年に設立された団体です。現在は一般社団法人として高齢者に対する安全運転講習や、イベント参加、講演会などに参加しています。現在会員数62名。

https://legend-rdc.jp/

LRDCサイト

タイムテーブル

公式予選　10月31日（土）15:15 ～15:35

決勝レース　11月1日（日）　15:55 ～ 8周

Legend Racing Drivers Club

211

初



桂 伸一　カツラ シンイチ　東京都出身

自動車雑誌編集部を経て独立。90年よりファルケンのドライバーに抜擢、91年のN1耐久からR32GT-Rを得ると、92-93年とチャンピオンを連覇。2008年にはアストンマーティンからニュルブルクリンク24時間に参戦しクラス優勝している。ラジコンの世界選手権では日本代表として参加した経歴も。



610

初



遠藤 栄行　エンドウ エイユキ　東京都出身

1970年レースデビュー。FJ/ジュニア7で経験を積み、73年富士GCにローラT292で出場、マカオGPでは6位（サーティスTS10）入賞。75～76年に富士GCに出場しインター200マイルのヒート2では7位に。93年筑波で開催されたボルシェカレラのレースで6位フィニッシュ。



714



篠田 康雄　シノダ ヤスオ　埼玉県出身

1976年FL-Bでレースデビュー。80年にはRSワタナベが製作したFL550「ファルコン80A」のドライバーに抜擢。81年には鈴鹿、筑波、全日本選手権でチャンピオンを獲得。82年にはF3「ファルコン813B」でF3にも参戦。富士GCや耐久レースにも出場した。



AIM Legend's Club Cup 2026 を支えてくださる協賛各社

大会役員

■大会組織委員会

委員長	長田	誠記
委員	田中	有光
	松橋	大二郎
	福島	典雄
	関	敦子

■競技会審査委員会

委員長	祝田	久仁一
委員	堀	守之
委員	松岡	直

競技役員

競技長（KYOJO/IPS）	三井 唯好				
競技長（FCR）	林田 浩二				
競技長アドバイザー	朝倉 敬一				
副競技長	三井 唯好(兼)	林田 浩二(兼)	岩田 精二	芹澤 光志	
コース委員長	矢野 智宏	(副)境野 敦子	雨宮 和哉		
管制委員長	一ノ間 剛	(副)弥吉 伸太郎	残間 俊典		
MP/SP統括	中村 秀樹				
計時委員長	白川 真澄	(副)門上 学			
技術委員長	本杉 将明	(副)坂本 徹			
技術アドバイザー	田知本 守				
救急委員長	馬場 猛治	(副)冨川 英和	吉浜 隆悦	岩瀬 弘征	
ピットグリッド委員長	木村 成一	(副)永井 福男	中田 宣博		
パドック委員長	大林 良二	(副)竹田 幸広	林 秀樹		
医師	山本 博崇	小川 恭史	鈴木 卓康		
セーフティーカードライバー	大井 正伸	井ノ口 智大			
セーフティーカーオブザーバー	本村 秀一				
大会アナウンサー	宇佐美 康平	ｻﾈｶﾀ ｲｯｾｲ	番場 琢(KYOJO/IPS)		
事務局長	土屋 雄				
事務局次長	渡邉 法綱	山田 亮太	石田 哲弘		

競技委員

■コース委員

穐原 弘一	芦川 智良	阿部 健	有馬 真由美	伊井 安孝	石井 俊徳	石原 和広	井島 潔
井上 泰成	岩渕 瑞枝	上田 利基	江口 集	江澤 敏則	惠本 慎二	大草 和己	大橋 勉
小川 陽二郎	荻原 潔	尾崎 光昭	梶浦 敬生	加藤 猛	加藤 雅範	門倉 裕史	川口 雅和
神定 清司	菊地 聡	北詰 勝規	越川 裕司	小松 実規	堺 昭利	篠田 正次	菅原 賢太郎
杉浦 利文	鈴木 俊光	鈴木 陵太	芹澤 章裕	田井 利彦	高玉 圭蔵	高玉 悠希	髙橋 弘二
高橋 富士男	津田 晃寿	鶴 聖子	鶴 真澄	出口 隆之	友澤 良太	中島 哲吉	中林 浩美
中村 修一	中村 宏	根本 裕次	野村 俊朗	深見 淳	藤田 悟	藤村 学	堀内 祐二
本多 正典	本多 守克	松尾 亨	松岡 英治	松本 真二	三好 明久	森脇 鉄之	安野 弘夢
山崎 俊彦	山下 大輔	山本 賢太郎	横山 大輔	吉田 隆	米丸 諭	吉野 大和	

■管制委員

山口 司	廣澤 正德	渥美 周

■ピットグリッド委員

新井 信男	岩田 政夫	大槻 昴史	加藤 信之	小菅 淳子	小波 寛幸	櫻井 資剛	佐野 晃一
鹿野 恵子	菅井 秀興	中川 雅久	長嶋 皐太	新倉 康一	西田 俊徳	濱嶋 康晃	早川 寛美
森 拓海	渡辺 達也	山邉 直輝	疋田 羅夢				

■技術委員

岡田 雄樹	片山 克朋	齋藤 欣也	酒井田 康宏	杉本 敦彦	髙木 花野	寺田 直道	額田 信明
野島 陽子	能勢 健一朗	芳賀 則雄	宮崎 恵子	山田 幸輝	水上 義仁	八重樫 琉晟	

■計時委員

勝間 貴美	勝又 莉梛	金塚 隆一	小林 祐麻	薦田 美香	齋藤 大智	滝口 澄空	滝口 未結
前園 己佳雄	宮本 知典	李 昊暘					

■パドック委員

安藤 徹	五十崎 高志	宇野 亮	梅田 久夫	大林 千津子	金剌 政敏	小林 琢磨	坂口 寿巳人
鈴木 百華	瀬戸 正功	田久保 智	松月 保幸	渡辺 直樹	山本 潤		

■救急委員

浅井 弘貴	石井 康久	一桝 晃伸	井上 正一	井上 芳和	内田 圭祐	加藤 晃	鎌野 秀雄
上山 敦裕	河村 寿幸	川村 正之	佐竹 勉	杉森 淳一	杉山 淳司	芹沢 俊雄	中林 聡
新田 信之	野木 昭二	古澤 徹	室伏 与夫	持田 奈緒美	望月 一史	望月 喜久夫	山口 佳希
瀬井 厚生	橋本 正喜	長田 光真	大薗 龍宏	島嵜 政司			

■看護師

塩谷 由子	鳥澤 雅代

■救急救命士

市川 健雄	勝又 将太	平井 英一	本田 茂人	山本 豊

■消防士

遠畑 毅

■事務局

榎木 理佳	小松 孝司	佐藤 浜栄	佐藤 幹哉	坪内 あけみ	野村 あや子	冨川 金作	武藤 絢香
高橋 亜由美	鈴木 理慈					

FUJI SPEEDWAY

すべてのレースファンへ1年間のありがとう

S耐FINAL 大感謝祭

11.14[土]予選・15[日]決勝



2日間通し
11.14(土)は場内宿泊可
前売観戦券
ー好評発売中ー

大人(26歳以上) 4,800円(税込)

ファミリー特割※1 U-25半額パス※2 2,400円(税込)

保護者同伴のお子様(中学生以下)は入場無料

※1:お子様の同伴がない場合、購入できません。中学生以下のお子様1名につき、大人2名まで購入いただけます。※2:高校生以上25歳以下の方が対象です。

公式HPはこちら

ENEOSスーパー耐久シリーズ 2026
Empowered by BRIDGESTONE 第7戦 S耐FINAL

11.14 予選[土] 15 決勝[日]

併催レース S耐チャレンジ Rd.3 / N-ONE OWNER'S CUP Rd.10

オーガナイザー 富士スピードウェイ株式会社 / FISCOクラブ(FISCO-C) 公認 一般社団法人日本自動車連盟(JAF) 認定 スーパー耐久未来機構(STMO) / Honda ワンメイクレース事務局 富士スピードウェイ・メディアパートナー テレビ神奈川 / FMヨコハマ
後援 静岡県 / 小山町 / 御殿場市 / 裾野市 / 公益社団法人 静岡県観光協会 / 小山町モータースポーツ協力会 / 静岡朝日テレビ